

とまこまい

議 会 年 報

令和4年度版



苫小牧市議会事務局

目 次

1 議 会 構 成	
(1) 任期及び議員数	1
(2) 党派別・会派別議員数	1
(3) 年齢別・当選回数別議員数	1
2 委 員 会	
(1) 常任委員会	2
(2) 議会運営委員会	2
(3) 特別委員会	2
3 議会予算及び議員報酬等	
(1) 議会予算	3
(2) 議員報酬等	4
4 議 会 運 営	
(1) 議会運営委員会	5
(2) 議会運営に関する申合せ事項	7
5 議 会 活 動	
(1) 本会議開催状況	13
(2) 委員会等開催状況	13
(3) 付議事件議決状況	14
(4) 委員会付託状況	14
(5) 常任委員会	15
(6) 議会運営委員会	18
(7) 特別委員会	19
(8) 議会改革検討会	22
(9) 会議日程表	
○第22回定例会 (R 4. 5. 31～ 6. 10)	23
○第23回臨時会 (R 4. 7. 15)	23
○第24回定例会 (R 4. 9. 2～ 9. 15)	24
○第25回臨時会 (R 4. 11. 15)	25
○第26回定例会 (R 4. 12. 1～12. 9)	25
○第27回定例会 (R 5. 2. 16～ 3. 10)	26
(10) 議決結果表	
○第22回定例会	28
○第23回臨時会	29
○第24回定例会	29
○第25回臨時会	31
○第26回定例会	31
○第27回定例会	33
(11) 代表・一般質問内容	
○第22回定例会	36
○第24回定例会	40
○第26回定例会	46
○第27回定例会	50
(12) 陳情処理状況	56
(13) 意見書提出状況	57
(14) 決議提出状況	69
6 そ の 他 資 料	
(1) 行政視察来訪状況	73
(2) 議会関係諸室平面図	74
7 事 務 局	
(1) 機構	75
(2) 事務分掌	75
(3) 議会中継等	75
(4) 図書室	76

1 議 会 構 成

(1) 任期及び議員数

ア 任 期

令和5年5月1日～令和9年4月30日

イ 議 員 数

(R5.5.1現在)

条 例 定 数	現 員 数	条例改正 H24. 12. 20
28	28	適 用 H27. 4. 19

(2) 党派別・会派別議員数

(R5.5.16現在)

党 派 会 派	自 由 民 主 党	立 憲 民 主 党	公 明 党	日 本 共 産 党	国 民 民 主 党	N H K か を 守 る 党	無 所 属	計
新 緑	2						5	7
公 明 党 議 員 団			5					5
民 主 ク ラ ブ		5						5
改 革 フ ォ ー ラ ム					1		3	4
日 本 共 産 党 市 議 団				4				4
会 派 市 民	1						1	2
無 所 属						1		1
計	3	5	5	4	1	1	9	28

(3) 年齢別・当選回数別議員数

(R5.5.1現在)

当 選 回 数 (回) 年 齢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
25～29歳											0
30～39歳	1										1
40～49歳	2	1	1	1	1						6
50～59歳		3	3	1		1					8
60～69歳	1	1	2	1	2	2	2				11
70～79歳				1						1	2
計	4	5	6	4	3	3	2	0	0	1	28

(最年少31歳、最年長71歳、平均年齢 56.6歳)

2 委 員 会

(1) 常任委員会

(R5.5.1現在)

名 称	定 数	所 管
総 務	7	総合政策部 総務部 財政部 会計課 消防本部 選挙管理委員会 公平委員会 監査委員
厚 生	7	市民生活部 環境衛生部 福祉部 健康こども部 市立病院
文 教 経 済	7	産業経済部 教育委員会 農業委員会
建 設	7	都市建設部 上下水道部

(2) 議会運営委員会

(R5.5.1現在)

定 数	選出方法
8	各交渉会派の議員数に比例配分

(3) 特別委員会

(R5.5.1現在)

名 称	定 数	所 管 事 項
総合開発	13	(1) 工業開発の促進及び苫小牧港整備促進について (2) 企業及びリサイクル産業施設等の立地促進並びにこれに伴う公害の防止について (3) 東部開発に伴う財政特別措置について (4) 空港周辺対策について (5) 広域行政について (6) ゼロカーボンについて (7) 統合型リゾート（IR）について (8) 自衛隊の訓練（災害訓練を除く。）等の国防に関することについて (9) 都市再生コンセプトプランについて（個別の事業を除く。）
安全・安心及び市民文化ホールに関する	13	(1) 防災に関する事項について (2) 危機管理に関する事項について (3) 市民文化ホールに関する事項について (4) その他市民の安全・安心に関する事項について

名 称	構 成	備 考
予算審査	正・副議長を除く全議員	各々、一般会計と特別・企業会計に分ける
決算審査	正・副議長、監査委員を除く全議員	

3 議会予算及び議員報酬等

(1) 議会予算 (令和5年度当初)

議会費 309,632千円 (対前年度比 99.40%)
 (うち 主要事業費 20,049千円)

(単位：千円)

節	金額	節	金額
1 報 酬	149,280	11 役 務 費	2,874
3 職 員 手 当 等	62,168	12 委 託 料	5,793
4 共 済 費	46,934	13 使 用 料 及 び 賃 借 料	17,463
7 報 償 費	60	18 負 担 金 補 助 金 及 び 交 付 金	9,421
8 旅 費	12,000		
9 交 際 費	620		
10 需 用 費	3,019	※ 事務局職員費は別款計上	

(単位：千円)

説	明
● 議会運営に要する経費	309,632
・ 議員報酬・手当及び共済費	258,382
・ 旅 費	12,000
・ 交 際 費	620
・ 食 糧 費	389
・ 政 務 活 動 費 交 付 金	8,400
・ 全 国 議 長 会 等 負 担 金	1,021
・ そ の 他 議 会 運 営 費	8,771
・ 議 会 運 営 シ ス テ ム 事 業 費 (主 要 事 業 費)	14,413
・ 市 議 会 I C T 化 事 業 費 (主 要 事 業 費)	5,636

(2) 議員報酬等

1) 報酬等 (月額)

(単位：千円)

職名	特別職						
	議長	副議長	議員	市長	副市長	教育長	監査委員
現行 (H 5.12)	520	480	440	980	800	680	常勤 635 議員 39
改訂前 (S63.12)	460	425	390	880	710	590	常勤 560 議員 35

2) 期末手当 (令和4年12月1日施行)

支給時期	6月	12月	年間	職務加算割合
支給割合	220/100	220/100	440/100	15%

3) 旅費 (平成18年4月1日適用)

ア) 費用弁償 (会議出席)

交通費 片道6km以上の場合にバス賃実費支給

(本会議等に参加した際の日額2千円の支給は、平成18年度から廃止)

イ) 行政視察 (特別委員会、議会運営委員会は隔年で実施)

常任委員会視察 1人年額 135千円

特別委員会視察 1人年額 135千円

議会運営委員会視察 1人年額 135千円

ウ) 海外視察 (平成18年度から一時凍結)

4) 政務活動費 (平成13年4月1日適用)

ア) 交付額 1人あたり月額25千円を各会派毎に交付

イ) 交付の方法 毎年4月末日に年額を一括交付

4 議 会 運 営

(1) 議会運営委員会

議会運営委員会内規（平成3年6月21日 本会議「その他の議事」で決定）

(目 的)

- 1 議会の円満、かつ、積極的な運営に資するため、議会運営委員会の運営については、この内規の定めるところによる。

(所 管 事 項)

- 2 地方自治法第109条第3項に規定する所管事項を例示すると、おおむね次のとおりである。

(1) 次に掲げる事項に関する調査

ア 議会の運営に関する事項

- (ア) 会期に関すること。
- (イ) 議事日程に関すること。
- (ウ) 決議案、意見書案等の取扱いに関すること。
- (エ) 請願及び陳情の取扱いに関すること。
- (オ) 一般質問に関すること。

イ 議会の会議規則、委員会条例等に関する事項

- (ア) 会議規則に関すること。
- (イ) 委員会条例、議員定数を減少する条例、事務局設置条例等議会関係の条例に関すること。
- (ウ) 議会運営に関する申合せ事項に関すること。

ウ 議長の諮問に関する事項

- (ア) 会議における議事進行に関すること。
- (イ) 議会費の予算及び決算に関すること。
- (ウ) 全員協議会開催に関すること。
- (エ) その他議会運営上必要と認めた事項に関すること。

(2) 前号に掲げる事項に関する議案、請願・陳情等の審査

(委員の選出)

- 3 委員は、原則として各交渉会派の議員数の比率により選出する。

(採 決)

- 4 採決は、極力避けるものとし、満場一致とならない場合は、多数の意見を尊重するものとする。

(会議の招集時期)

- 5 会議の招集時期は、次のとおりとする。

- (1) 次期定例会の会期等を審議する閉会中の会議の招集は、原則として定例会等の招集日前4日以内とする。
- (2) 開会中は、必要の都度招集する。

(委員外議員の出席等)

- 6 議長、副議長及び委員外議員の出席、発言等については、次のとおりとする。
- (1) 議長及び副議長は、会議に出席し、説明又は意見を述べることはできるが、採決には加われない。
 - (2) 委員が会議に欠席する場合は、委員外議員として同一交渉会派の議員の出席を求め、説明又は意見を聞くこととする。
ただし、委員外議員は採決には加われない。
 - (3) 交渉会派に所属しない議員（1人）がいる場合は、当該議員の出席を求めるが、発言は原則として認めず、採決に加われない。
更に、当該議員は会議において決定した事項については、これに従うものとする。

(理 事 会)

- 7 議会運営委員会を効率的に運営するため理事会を設置するものとし、理事会の構成等については次のとおりとする。
- (1) 理事会は、各交渉会派から委員1人をもって構成し、議会運営委員会から付議された次の事項について協議する。
 - ア 会議における議事進行に関すること。
 - イ 決議案、意見書案等の取扱いに関すること。
 - ウ 議会費の予算及び決算に関すること。
 - エ その他必要と認めた事項に関すること。
 - (2) 前号の理事の選任は、委員長の名による。ただし、議会の開会中に限り、議長が指名することができる。
 - (3) 理事会は、必要の都度委員長が招集する。
 - (4) 理事会は、非公開とする。
 - (5) 委員外議員については、前項の例による。

附 則

- この内規は、平成3年6月21日から施行する。
この内規は、平成25年4月1日から施行する。
この内規は、令和元年9月13日から施行する。
この内規は、令和3年12月10日から施行する。

(2) 議会運営に関する申合せ事項

(交渉会派に関すること)

1 交渉会派について

(1) 交渉会派は、2人以上とする。

(2) 交渉会派に所属しない議員（1人）の呼称は無所属とする。

なお、交渉会派に所属しない議員（1人）は、議会運営委員会及び代表者会議に出席するが、発言は原則として認めず、採決に加われない。

さらに、会議において決定した事項については、これに従うものとする。

(本会議運営等に関すること)

2 時間延長について

(1) 休憩中の手続きは、各交渉会派等の了解を得て行い、本会議での決定は省略する。

(2) 散会時刻は、おおむね午後8時とする。

3 代表質問及び一般質問について

(1) 2月定例会及び市長選挙後最初の定例会は代表質問を、他の定例会は一般質問を行うものとする。

(2) 質問を行う時期は、議案審議の前（会期の初め）とする。

(3) 日程は4日以内で終了することとする。

(4) 内容は項目別に具体的にし、議案等に関係する事項については、質問の対象としないこと。ただし、請願・陳情については、この限りでない。

(5) 質問の通告

ア 質問の通告期限は、議会運営委員会開催日前々日の正午までとする。

イ 質問の要旨は、所定の用紙に項目別に具体的に記入し、次の期限までに議長に提出すること。

(ア) 代表質問は、質問初日の3日前の正午までに提出すること。

(イ) 一般質問は、質問方式を記入し、質問の通告期限までに提出すること。

※代表質問を行う定例会の日程例

1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日
質問通告		議会運営委員会		本会議(市政方針)	議案検討日・休会	議案検討日・休会	質問要旨提出・休会	議案検討日・休会	議案検討日・休会	本会議(代表質問)

ウ ファクスによる質問の通告を認めるものとし、この場合は所定の用紙に自筆の署名・押印をし、送信票に連絡先等を明記して、原則として質問の通告期限の1時間前までに送信し、送信後は必ず着信を確認すること。

エ 通告期限が土曜日にあたるときはその前日、日曜日にあたるときはその翌日とし、祝日等にあたる場合は議長が定める。

オ 質問の内容は、議会運営委員会で検討し、具体性を欠いているときは、受理できない場合もある。

(6) 代表質問は、各交渉会派から1人とし、一般質問の人数は制限しない。

(7) 質問時間

ア 一般質問に係る質問時間は、各交渉会派等の持ち時間制とし、持ち時間は議員1人20分に各交渉会派等に所属する議員数を乗じて得た時間とする。

※交渉会派等一般質問時間 (令和5年5月17日)

交渉会派名	人数 (人)	質問時間 (分)
新 緑	7	140
公明党議員団	5	100
民主クラブ	5	100
改革フォーラム	4	80
日本共産党市議団	4	80
会派市民	2	40
無所属	1	20
計	28	560

イ 代表質問者の質問時間は60分以内とする。

一般質問者の質問時間は40分以内とする。ただし、各交渉会派等の持ち時間の範囲とする。

ウ 質問者の質問残時間の表示は、代表質問は60分、一般質問は40分から表示し、各交渉会派等の持ち時間が40分に満たない場合はその時間から表示する。

(8) 代表質問の質問順位は、交渉会派順位に従って行う。

(9) 一般質問の質問順位は、質問通告者のうち各交渉会派で指名(1人)する者をもって最初に一巡するものとし、他は抽せんとする。

この場合、各交渉会派で指名する者の質問順位は、交渉会派順位に従って行うものとし、一般質問を行う定例会毎に順次輪番とする。

各交渉会派の被指名者氏名は、抽せんに先だち各交渉会派の代表から議会運営委員長に届け出るものとする。

抽せんは、議会運営委員会において、各交渉会派等の代表をもって行うものとする。

(10) 動議

ア 動議は、質問者又は当該答弁者の発言が終了した時に発議し、現に質問者及び答弁者が発言している最中には発議することができない。

イ 質問における質問者の当該質問又は当該質問の答弁に対する動議の発議は、その質問者の質問終了までに行うこととし、次の質問者の質問に入った後には発議することができない。

ウ 当該動議に対する動議の発議を行うことができない。

エ アからウの事項は、質疑又は委員会においても同様とする。

(11) 議事進行発言

ア 議事進行発言は、2回にわたって議長に求めることができない。

イ 質問者及び質問者以外の議員は、質問者の質問終了までに、議事進行発言を行うことができる。

ただし、ウの質問終了後において、質問者以外の議員が答弁もれや質問に関連し新たな答弁を求める議事進行発言を行うことはできない。

ウ 質問者に対し答弁もれがある場合は、次の質問で補足していくこととし、質問終了後においてなお答弁もれがある場合は、質問者の議事進行発言により答弁を求めること。

エ アからウの事項は、質疑又は委員会においても同様とする。

4 緊急質問について

- (1) 質問の許可は、議会運営委員会で決定するため、質問の内容については議会運営委員会において詳細な説明を行い、緊急性の有無を的確に判断し得るようにすること。

(議案及び請願・陳情に関すること)

5 議案の取扱いについて

- (1) 条例案等の取扱いは、議会運営委員会で協議し、必要に応じて所管の委員会に付託して審査する。
- (2) 議案等審議の際の意見調整は、議会運営委員会において行うものとする。
- (3) 公共料金の設定・改正並びに重要案件は、十分審議できる期間をもって提出させること。
- (4) 人事案件は、本会議から一たん全員協議会に持ち越しするが、直ちに代表者会議に諮り、結論を得た後に全員協議会を開催し、決定する。ただし、全員協議会は省略することができる。

6 予算案及び決算認定案の取扱いについて

(1) 予算審査

ア 通常予算については、正・副議長を除く、全議員をもって審査する。

イ 通常予算並びに関連議案を一般会計と企業会計（特別会計を含む）に分け、次の特別委員会を設置する。

一般会計予算審査特別委員会 …………… 議会大会議室

企業会計予算審査特別委員会 …………… 市大会議室

ウ 質疑時間は、答弁時間を含めて70分以内とする。

エ 代表質問を行う定例会に限り、委員会での質疑は、基本計画及び市政方針の範囲であれば、一般会計は款の中で、企業会計（特別会計を含む）は総括質疑で行うことができる。

(2) 決算審査

ア 正・副議長並びに監査委員を除く、全議員をもって審査する。

イ 一般会計と企業会計（特別会計を含む）に分け、次の特別委員会を設置する。

一般会計決算審査特別委員会

企業会計決算審査特別委員会

ウ 質疑時間は、答弁時間を含めて60分以内とする。

7 請願・陳情の取扱いについて

- (1) 議会招集日の前日の午後5時までに提出されたものは、所管の委員会に付託し、会期中に審査する。

なお、その後に提出されたものは、最終日に議長手続により、閉会中継続審査とする。

- (2) 委員会付託の方法は、付託一覧表を作成し、これをもって一括付託する。

- (3) 会期中開催の委員会において、付託審査中の請願・陳情と同一趣旨のものが提出された場合は、参考として当該委員会に配布し、付託中の請願・陳情が議会に審査結果報告された場合は、一事不再議の原則により処理する。

なお、閉会中継続審査となった場合は、議会最終日に議長手続により、当該委員会に付託して、閉会中継続審査とする。

- (4) 閉会中に閉会中継続審査の請願・陳情の取下げ願いを受理した場合は、議長から所管の委員長に通知し、委員長は各委員へ取下げがあった旨の文書通知（再提出がある場合はその旨も付記する）を行うものとし、請願・陳情の取下げだけでの委員会は開催しないものとする。

- (5) 委員会の表決について、国、北海道等に対する要望に係るものは、採択又は不採択とし、趣旨採択については、本市の事業に限るものとする。
- (6) その他
 - ア 採択と決定した請願・陳情の処理経過について、理事者は定例会ごとに議会に報告すること。なお、この報告は1年間を限度とする。
 - イ 議会に提出する請願・陳情については、文書表のみとし、本文の印刷配布は行わない。
 - ウ 郵送陳情等については、各交渉会派等に参考配布（原本の写し）することとどめ、審査は行わないものとする。
 - エ 未成年者がウの郵送陳情等以外の陳情を提出したときは、その者の保護者その他議長が認める者の同意があるもののみ審査を行い、当該同意がないものは議長限りとする。

(意見書案及び決議案に関すること)

8 意見書案及び決議案等の取扱いについて

- (1) 関係行政庁に提出を求める要望意見書の交渉会派等からの提出は、急施を要するものを除き、次の期限までに提出すること。
 - ア 代表質問を行う定例会においては、質問の初日までに提出すること。
 - イ 一般質問を行う定例会においては、質問の2日目までに提出すること。
- (2) 取扱いは、議会運営委員会で決定する。
この場合、満場一致となるよう努力をし、ならないものは、提出者の意思による。

(常任委員会及び特別委員会に関すること)

9 委員会審査について

- (1) 会期中の審査日程は、2日以内とする。
- (2) 審査結果報告は簡略にし、朗読は要点にとどめる。
- (3) 委員会は、その所管事項の調査も積極的にを行い、委員会の活動を充実、強化していくこと。
この場合、調査事項の具体的内容を定例会の委員会で決定し、議会の承認を得ること。
- (4) 委員会は、原則として公開とする。
- (5) 質疑時間
 - ア 常任委員会の質疑時間に制限は設けない。
 - イ 予算審査及び決算審査特別委員会を除く特別委員会の質疑時間は、答弁時間を含めて40分以内とする。

10 委員会における調査・出張の承認について

- (1) 調査費予算（委員会旅費等）の範囲内において、議長の承認により、行うものとする。（管内・管外日帰り程度）
- (2) 議長の承認手続きを経ないものは、公務災害の対象とならない。

11 特別委員会の正・副委員長選出順位について

- (1) 各交渉会派の持ち回りとし、その順位は次のとおりとする。
ただし、正・副委員長が1交渉会派に重複するときは、次の交渉会派と調整を図る。
 - ア 委員長は別表2、副委員長は別表3のとおりとする。
 - イ 臨時に設置される特別委員会の委員長は、交渉会派順とし、各交渉会派持ち回りとする。

ウ 副委員長は、交渉会派順位の逆順とし、各交渉会派持ち回りとする。

1 1 - 2 特別委員会理事会について

- (1) 特別委員会を効率的に運営するため、必要に応じ理事会を設置する。
- (2) 理事の選任は、当該委員会の委員長の指名による。ただし、議会の開会中に限り、議長が指名することができる。
- (3) 理事会は、当該委員会から付議された事項について協議する。
- (4) 理事会は、委員長があらかじめ、日時、場所、その他開催に必要な事項を定め、必要の都度招集する。
- (5) 理事会の運営については委員長が決定する。

(議員協議会に関すること)

1 2 議員協議会について

削除

(代表者会議に関すること)

1 3 代表者会議について

- (1) 付議する事件は、おおむね次のとおりとする。
 - ア 議会人事に関すること。
 - イ 市長提案に係る人事に関すること。
 - ウ 理事者及び議員の給与等に関すること。
 - エ 議員の海外派遣に関すること。
 - オ その他

(委員長連絡会議に関すること)

1 4 委員長連絡会議について

- (1) 各委員会の連絡、調整を図るものとする。

(会議録に関すること)

1 5 会議録の調製及び配布について

- (1) 本会議及び委員会は、録音機器により記録する。
- (2) 全員協議会は、録音機器により録音する。ただし、非公開の場合は、決定事項の記録とする。
- (3) 会議録の配布は、次のとおりとする。
 - ア 本会議、予算及び決算審査特別委員会の会議録は、印刷して各交渉会派等に配布する。
 - イ 他の会議録は、事務局において保管する。

(その他)

1 6 報道機関の入室許可について

- (1) 写真撮影のための入室許可については、本会議の場合は議長、委員会の場合は委員長の権限による。

※特別委員会委員長選出順位表 別表2

(令和5年5月17日)

特別委員会	交 渉 会 派 名	
	一 般 会 計	企 業 会 計
令和4年度決算審査	新 緑	公 明 党 議 員 団
令和6年度予算審査	公 明 党 議 員 団	新 緑
令和5年度決算審査	民 主 ク ラ ブ	改 革 フ ォ ー ラ ム
令和7年度予算審査	改 革 フ ォ ー ラ ム	民 主 ク ラ ブ
令和6年度決算審査	日 本 共 産 党 市 議 団	新 緑
令和8年度予算審査	新 緑	日 本 共 産 党 市 議 団
令和7年度決算審査	会 派 市 民	民 主 ク ラ ブ
令和9年度予算審査	新 緑	公 明 党 議 員 団

※特別委員会副委員長選出順位表 別表3

(令和5年5月17日)

特別委員会	交 渉 会 派 名	
	一 般 会 計	企 業 会 計
令和4年度決算審査	民 主 ク ラ ブ	改 革 フ ォ ー ラ ム
令和6年度予算審査	新 緑	会 派 市 民
令和5年度決算審査	公 明 党 議 員 団	新 緑
令和7年度予算審査	公 明 党 議 員 団	新 緑
令和6年度決算審査	新 緑	公 明 党 議 員 団
令和8年度予算審査	改 革 フ ォ ー ラ ム	民 主 ク ラ ブ
令和7年度決算審査	日 本 共 産 党 市 議 団	新 緑
令和9年度予算審査	民 主 ク ラ ブ	日 本 共 産 党 市 議 団

5 議 会 活 動

(1) 本会議開催状況

開催状況 会議別	会 期 日数	本 会 議		代表・一般質問		傍聴者数 (人)	各委員会 (日)	休 会 (日)	
		日数	時間数 (時間:分)	日 数	人 数				
									日数
第22回定例会	4. 5. 31～ 6. 10	11	6	25:54	4	24	6	2	3
第23回臨時会	4. 7. 15	1	1	00:23	0	0	1	0	0
第24回定例会	4. 9. 2～ 9. 15	14	5	16:30	3	6	15	2	7
第25回臨時会	4. 11. 15	1	1	00:46	0	0	0	0	0
第26回定例会	4. 12. 1～12. 9	9	5	21:44	4	24	35	2	2
第27回定例会	5. 2. 16～ 3. 10	23	5	16:39	2	6	29	7	11
計		59	23	81:56	13	60	86	13	23

※本会議の日数は、代表・一般質問の日数を含む

※本会議と各委員会の日数は、同日開催の場合重複

※各委員会は、常任・特別・予算委員会の日数とする

(2) 委員会等開催状況

開催状況 委員会名	会 議			現地視察 (管内) (回)	現地視察 (管外) (回)		
	日 数	時間数 (時間:分)	傍聴者数 (人)				
						会期中	
常任委員会	総 務	4	4	06:10	10	0	1
	厚 生	4	4	08:23	0	0	1
	文 教 経 済	4	4	11:13	6	0	1
	建 設	4	4	04:57	0	0	1
	計	16	16	30:43	16	0	4
議 会 運 営 委 員 会	18	14	03:22	0	0	0	1
特 別 委 員 会	総 合 開 発	4	4	07:26	1	0	0
	安全・安心及び市民文化ホールに関する	4	4	09:37	1	0	0
	令和5年度一般会計予算審査	5	5	29:02	1	0	0
	令和5年度企業会計予算審査	4	4	15:53	0	0	0
	令和3年度一般会計決算審査	3	0	14:15	3	0	0
	令和3年度企業会計決算審査	2	0	09:59	1	0	0
	計	22	17	86:12	7	0	0
全 員 協 議 会	1	0	01:27	0	0	0	0
議 会 改 革 検 討 会	6	4	03:07	0	0	0	0

(3) 付議事件議決状況

(単位：件)

付議事件 会議別結果	議案						報 告	選 挙	推 薦	諮 問	請 願	陳 情	意 見 書	決 議	そ の 他	計	行 政 報 告	
	条 例	予 算	決 算	人 事	そ の 他	計												
第22回定例会	3	4		1	7	15	9		1				4		2	31		
第23回臨時会		1				1										1		
第24回定例会	6	7		2	1	16	5					1	3	1	2	28		
第25回臨時会		1	8			9	2							1		12		
第26回定例会	12	2			16	30	2		1		1	1			2	37		
第27回定例会	8	18		4	3	33	7				3	3	1	2	49			
計	29	33	8	7	27	104	25		2		5	11	3	8	158			
議決結果	可決	29	33			27	89					11	3		103			
	否認			8			8									8		
	同意承認				7	7										7		
	報告終了						3								8	11		
	報告どおり決定						14									14		
	当選						8									8		
	推薦決定可とする								2								2	
	撤回																	
	採択一部(採択・不採択)											1					1	
	趣旨採択																	
	不採択												4				4	
	審査未了																	
	取下げ																	
その他																		
継続審査																		
委員会付託	1	8	8			17					5					22		

(4) 委員会付託状況

(単位：件)

付託内容	委員会名	常任委員会					議 運 委 員 会	特別委員会					合 計		
		総 務	厚 生	文 経 済	教 育	建 設		計	総 開 発	安 全 心 安	予 算 審 査	決 算 審 査		計	
議案	条例											1		1	1
	予算											8		8	8
	決算												8	8	8
	請願														
	陳情	3			2		5								5
	その他														
計		3			2		5					9	8	17	22

(5) 常任委員会

《総務委員会》

年 月 日	会 議 時 間	付 議 事 件	備 考
4. 6. 8 (水)	10:01 ~ 11:58 (01:57)	○所管事項 ・ 苫小牧市総合計画第7次基本計画骨子案について ・ 北洋大学について ・ 令和3年度公共交通関連事業について ・ 第17回全国高等学校選抜アイスホッケー大会の開催について ・ 胆振管内消防指令業務共同運用について	
9. 13 (火)	10:04 ~ 11:37 (01:21)	○第24回定例会 陳情第1号 ・ 憲法改正の発議に際し、国民が検討するための十分な時間を確保するよう国に求める要望意見書提出に関する陳情 ○所管事項 ・ 苫小牧市パートナーシップ制度について ・ 第17回全国高等学校選抜アイスホッケー大会の結果について ・ 消防指令業務共同運用の検討について	
10. 31 (月) ~11. 2 (水)	_____	○視察調査 (大分市、山口市)	閉会中
12. 7 (水)	10:00 ~ 10:23 (00:23)	○所管事項 ・ 苫小牧市総合計画第7次基本計画 (案) について ・ 苫小牧市パートナーシップ制度について ・ 苫小牧市男女平等参画基本計画 (第3次) の見直しについて ・ 立地適正化計画 (素案) について	
5. 3. 8 (水)	10:00 ~ 12:29 (02:29)	○第27回定例会 陳情第2号 ・ 原発の運転原則40年規定を守ることを国に求める要望意見書提出に関する陳情 ○第27回定例会 陳情第3号 ・ 国立病院の機能強化を求める要望意見書提出に関する陳情 ○所管事項 ・ 苫小牧市総合計画第7次基本計画 (案) について ・ 苫小牧市総合計画実施計画 (案) について ・ 第2期苫小牧市総合戦略中間見直し案について ・ 苫小牧市男女平等参画基本計画 (第3次) の見直しについて ・ 苫小牧市立地適正化計画 (案) について ・ 市内バス路線の再編について ・ 苫小牧市行政創革プラン改定版について ・ 財政運営持続化計画について ・ 東胆振消防指令業務共同運用について	

《厚生委員会》

年 月 日	会 議 時 間	付 議 事 件	備 考
4. 6. 8 (水)	10:01 ~ 11:49 (01:48)	○所管事項 ・市立病院における新型コロナウイルス感染症への対応について ・ふくし大作戦IV 2 0 2 1 事業実施報告について ・苫小牧市放課後児童クラブの運営について	
9.13 (火)	10:00 ~ 11:39 (01:39)	○所管事項 ・市立病院における新型コロナウイルス感染症への対応について ・国民健康保険課 税限度額の改正について ・小規模保育事業所の開設事業者について ・動物火葬場の廃止について ・生物多様性推進事業の実施結果について	
10.17 (月) ~10.19 (水)	_____	○視察調査 (明石市、北九州市)	閉会中
12. 7 (水)	10:00 ~ 12:24 (02:24)	○所管事項 ・市立病院における新型コロナウイルス感染症への対応について ・一般廃棄物収集運搬委託業務車両による物損事故について ・苫小牧市災害廃棄物処理計画策定の概要について ・苫小牧市第4次環境基本計画 (第1期ゼロカーボン推進計画) 案について ・第2次苫小牧市消費者教育推進計画 (素案) について ・第2期苫小牧市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて ・苫小牧市青少年問題協議会について ・初期救急医療体制の見直しについて	
5. 3. 8 (水)	10:00 ~ 12:32 (02:32)	○所管事項 ・苫小牧市立病院経営指標自己評価及び令和4年度苫小牧市立病院経営指標評価報告書について ・市立病院における新型コロナウイルス感染症への対応について ・苫小牧市災害廃棄物処理計画について ・今後のごみ収集体制の在り方について ・動物火葬場の廃止及び経過措置等について ・苫小牧市第4次環境基本計画 (第1期ゼロカーボン推進計画) 案について ・第2次苫小牧市消費者教育推進計画について ・第3期苫小牧市福祉のまちづくり推進計画・第4期苫小牧市障がい者計画について	

《文教経済委員会》

年 月 日	会 議 時 間	付 議 事 件	備 考
4. 6. 8 (水)	10:00 ~ 11:52 (01:52)	○所管事項 ・公益財団法人道央産業振興財団の事業について	

年 月 日	会 議 時 間	付 議 事 件	備 考
		・ 苫小牧市立樽前小学校改築計画（案）について	
9.13（火）	10:02 ～ 14:37 (03:34)	○所管事項 ・ 苫小牧市観光振興ビジョン推進事業の進捗状況について ・ モーラップ樽前荘の廃止について ・ 令和4年度（令和3年度対象）教育委員会点検・評価報告書について ・ 苫小牧市立小中学校規模適正化地域プラン【植苗地区】について	
10.19（水） ～10.21（金）	_____	○視察調査（福山市、彦根市）	閉会中
12. 7（水）	10:02 ～ 14:04 (02:48)	○第26回定例会 陳情第1号 ・ 子どもの新型コロナウイルス感染症対策緩和を求める要望意見書提出に関する陳情 ○所管事項 ・ 不登校児童生徒の支援に関する指針について ・ 啓北中学校山なみ分校の活用について ・ 第二次苫小牧市中小企業振興計画について	
5. 3. 8（水）	10:08 ～ 14:08 (02:59)	○第27回定例会 陳情第1号 ・ 小中学校におけるマスク着用に関する幅広い理解と周知を求める陳情 ○所管事項 ・ 苫小牧市教育大綱について ・ 苫小牧市学校教育推進計画について ・ 苫小牧市第六次生涯学習推進基本計画について ・ 苫小牧市特別支援教育基本方針について ・ 苫小牧市立樽前小学校改築事業の進捗状況について ・ 第二次苫小牧市中小企業振興計画について	

《建設委員会》

年 月 日	会 議 時 間	付 議 事 件	備 考
4. 6. 8（水）	10:00 ～ 10:59 (00:59)	○所管事項 ・ 新雨量監視システムについて ・ 河川事業の取り組みについて	
9.13（火）	10:00 ～ 11:00 (01:00)	○所管事項 ・ 令和4年8月の大雨対応について	
10.24（月） ～10.26（水）	_____	○視察調査（熊本市、福岡市）	閉会中
12. 7（水）	10:00 ～ 11:20 (01:20)	○所管事項 ・ 水道管の漏水対策について ・ 苫小牧市橋梁長寿命化修繕計画の改訂について	
5. 3. 8（水）	10:00 ～ 11:38 (01:38)	○所管事項 ・ 市営住宅に係るアスベストについて ・ 苫小牧市営住宅整備計画の見直しについて ・ 苫小牧市新水道ビジョン実施計画の改訂について	

(6) 議会運営委員会

年 月 日	会 議 時 間	付 議 事 件	備 考
4. 5. 30 (月)	13:00 ~ 13:26 (00:26)	○新型コロナウイルス感染症対策について ○市長提出事件について ○付議事件の取扱いについて ○会期の決定について ○一般質問の発言順位の決定について ○議員表彰の伝達について	閉会中
6. 6 (月)	15:12 ~ 18:46 (00:21)	○市長提出追加事件について ○付議事件の取扱いについて ○各会派提出の要望意見書について	
6. 10 (金)	13:00 ~ 17:20 (00:07)	○市長提出追加事件について ○付議事件の取扱いについて ○本日の案件と議事次第について	
7. 15 (金)	09:31 ~ 10:23 (00:04)	○新型コロナウイルス感染症対策について ○市長提出事件について ○付議事件の取扱いについて ○会期の決定について ○本日の案件と議事次第について	
8. 31 (水)	13:09 ~ 13:27 (00:18)	○9月定例会の進め方について ○市長提出事件について ○議員提出事件について ○付議事件の取扱いについて ○会期の決定について ○代表質問の発言順位の決定について	閉会中
9. 8 (木)	09:31 ~ 17:42 (00:02)	○代表質問の通告内容について ○議長提出追加事件及び付議事件の取扱いについて	
9. 9 (金)	16:40 ~ 18:13 (00:12)	○動議の取扱いについて ○各会派提出の要望意見書について	
9. 15 (木)	13:00 ~ 13:30 0:06	○本日の案件と議事次第について ○決算審査特別委員会の証書類の閲覧について ○委員会視察調査について	
11. 15 (金)	09:11 ~ 11:03 (00:09)	○新型コロナウイルス感染症対策について ○市長提出事件について ○議長・議員提出事件及び付議事件の取扱いについて ○付議事件の取扱いについて ○会期の決定について ○本日の案件と議事次第について ○決議案の取扱いについて ○議員提出追加事件及び付議事件の取扱いについて	
11. 16 (水) ~11. 18 (金)		○視察調査 (姫路市、下関市)	閉会中
11. 28 (月)	13:09 ~ 13:43 (00:34)	○新型コロナウイルス感染症対策について ○市長提出事件について	閉会中
		○議員提出事件について ○付議事件の取扱いについて	

年 月 日	会 議 時 間	付 議 事 件	備 考
		○会期の決定について ○一般質問の発言順位の決定について ○総務大臣感謝状の伝達について	
12. 1 (木)	12:42 ~ 16:55 (00:15)	○一般質問取りやめについて ○議長提出追加事件について ○付議事件の取扱いについて ○本日の議事日程について	
12. 5 (月)	15:06 ~ 17:26 (00:02)	○文教経済委員会の会場変更について ○各会派提出の要望意見書について ○本日の議事日程について	
12. 9 (金)	13:00 ~ 14:22 (00:04)	○本日の案件と議事次第について	
5. 2.13 (水)	13:21 ~ 13:39 (00:18)	○新型コロナウイルス感染症対策について ○市長提出事件について ○議長提出事件及び付議事件の取扱いについて ○会期の決定について ○代表質問の発言順位の決定について	閉会中
2.22 (水)	09:30 ~ 17:05 (00:04)	○代表質問の通告内容について ○議長提出追加事件及び付議事件の取扱いについて ○陳情の取扱いについて	
2.24 (金)	15:10 ~ 18:31 (00:02)	○各会派提出の要望意見書及び決議について	
3. 7 (火)	09:43 ~ 10:05 (00:07)	○市長提出追加事件について ○議長・議員提出追加事件について ○付議事件の取扱いについて	
3.10 (金)	12:58 ~ 14:42 (00:11)	○本日の案件と議事次第について	

(7) 特別委員会

《総合開発特別委員会》

年 月 日	会 議 時 間	付 議 事 件	備 考
4. 6. 9 (木)	10:01 ~ 11:17 (01:16)	○所管事項 ・米軍再編に伴う米軍機訓練移転について ・航空機事故関連について ・北海道内7空港の一体的運営に関する協議会について ・苫小牧地区工業団地内企業立地動向について	
9.14 (水)	10:00 ~ 12:06 (02:06)	○所管事項 ・陸上自衛隊による戦車等の公道自走訓練について ・米軍再編に伴う米軍機訓練移転について ・新千歳空港の24時間運用に関する苫小牧市地域協議会について ・都市再生コンセプトプランについて ・ゼロカーボンシティの実現に向けた取組について ・要望について ・(株) 苫東の経営概況について	

年月日	会議時間	付議事件	備考
10.27(木) ～10.28(金)	—	○中央要望(姫路市、下関市) ・地元選出国會議員、国土交通省、海上保安庁、財務省	閉会中
12.8(木)	10:00～11:45 (01:45)	○所管事項 ・要望について ・米軍再編に伴う米軍機訓練移転について ・令和4年度日米共同統合演習(実動演習)の実施結果について ・航空機事故関連について ・苫小牧駅周辺ビジョン策定進捗状況報告について ・苫小牧市第1期ゼロカーボン推進計画(第4次環境基本計画)案について	
5.3.9(水)	10:00～12:19 (02:19)	○所管事項 ・苫小牧駅周辺ビジョン(案)について ・苫小牧市スマートシティ構想(案)について ・米軍再編に伴う米軍機訓練移転について ・苫小牧市第1期ゼロカーボン推進計画(第4次環境基本計画)案について ・第4期苫小牧市役所エコオフィスプラン(案)について ・令和5年度苫小牧港港湾整備事業予算及び令和4年苫小牧港の港勢について ・米艦船「RAFAEL PERALTA(ラファエルペラルタ)」の苫小牧港寄港について ・総合開発特別委員会調査結果報告について	

《安全・安心及び市民ホールに関する特別委員会》

年月日	会議時間	付議事件	備考
4.6.9(木)	10:01～12:04 (02:03)	○所管事項 ・災害時応援協定の締結について ・津波ハザードマップの改訂について ・(仮称)苫小牧市民ホール整備運営事業の進捗状況について	
9.14(水)	10:00～13:49 (02:47)	○所管事項 ・苫小牧市民文化ホール整備運営事業の進捗状況について ・災害時におけるレンタルキャンピングカー等の提供に関する協定の締結について ・津波ハザードマップの改訂について ・苫小牧市強靱化計画について	
12.8(木)	10:00～11:28 (01:28)	○所管事項 ・苫小牧市民文化ホール整備運営事業の進捗状況について ・北海道・三陸沖後発地震注意情報の運用開始について	
5.3.9(水)	10:00～14:17 (03:19)	○所管事項 ・津波ハザードマップの改訂について ・苫小牧市民文化ホール整備運営事業の進捗状況について ・安全・安心及び市民ホールに関する特別委員会調査結果報告について	

《令和3年度一般会計決算審査特別委員会》

年月日	会議時間	付議事件	備考
4.10.3(月)	10:07～19:00 (07:08)	○第24回定例会・議案第3号(歳出①議会費～③民生費)	閉会中
10.4(火)	10:02～19:02 (07:07)	○第24回定例会・議案第3号(歳出③民生費～⑧土木費)	閉会中
10.5(水)	10:01～16:10 (04:12)	○第24回定例会・議案第3号(歳出⑨消防費～⑭予備費、歳入、調書) ○総括質疑、討論、表決	閉会中

《令和3年度企業会計決算審査特別委員会》

年月日	会議時間	付議事件	備考
4.10.6(木)	10:00～17:01 (05:29)	○第24回定例会・議案第4号(国保)～第6号(後期高齢)	閉会中
10.7(金)	10:00～16:08 (04:30)	○第24回定例会・議案第7号(水道)～第10号(卸売市場) ○総括質疑、討論、表決	閉会中

《令和5年度一般会計予算審査特別委員会》

年月日	会議時間	付議事件	備考
5.2.28(火)	10:01～17:05 (05:35)	○第27回定例会・議案第10号(歳出①議会費)	
3.1(水)	10:02～17:06 (05:33)	○第27回定例会・議案第10号(歳出②総務費、③民生費)	
3.2(木)	10:00～18:52 (07:15)	○第27回定例会・議案第10号(歳出③民生費～⑤労働費)	
3.3(金)	10:00～17:05 (05:35)	○第27回定例会・議案第10号(歳出⑥農水産業費～⑩教育費)	
3.6(月)	10:01～16:47 (05:04)	○第27回定例会・議案第10号(歳出⑩教育費～⑭予備費、歳入、予算条文) ○総括質疑、討論、表決	

《令和5年度企業会計予算審査特別委員会》

年月日	会議時間	付議事件	備考
5.2.28(火)	10:02～16:30 (04:51)	○第27回定例会・議案第11号(国保)及び関連議案第19号、議案第12号(介護)	
3.1(水)	10:00～16:34 (05:04)	○第27回定例会・議案第13号(後期高齢者)～議案第15号(下水道)	
3.2(木)	10:00～15:48 (04:18)	○第27回定例会・議案第16号(病院)	
3.3(金)	10:00～11:51 (01:40)	○第27回定例会・議案第17号(卸売市場) ○総括質疑、討論、表決	

(8) 議会改革検討会

年 月 日	会 議 時 間	付 議 事 件	備 考
4. 6. 10 (金)	11:00 ~ 11:44 (00:44)	○協議事項 ・ 質問時間の見直しについて ・ 倫理条例の制定について	
7. 26 (水)	11:00 ~ 11:51 (00:51)	○協議事項 ・ 倫理条例の制定について	閉会中
9. 15 (木)	11:00 ~ 11:09 (00:09)	○協議事項 ・ 倫理条例の制定について	
11. 22 (金)	11:00 ~ 11:33 (00:33)	○協議事項 ・ 倫理条例の制定について	閉会中
12. 9 (金)	11:00 ~ 11:36 (00:36)	○協議事項 ・ 議会基本条例の見直しについて ・ 引継事項について	
5. 3. 10 (金)	11:00 ~ 11:14 (00:14)	○協議事項 ・ 引継事項について	

(9) 会議日程表

【第22回定例会】 4. 5.31 (火) ~ 6.10 (金) (会期11日間)

日 程	会 議 区 分	付 議 事 件
1 5.31 火	本 会 議	10:01~11:39 <ul style="list-style-type: none"> ・ 議員表彰の伝達 ・ 教育長及び副市長から議員各位に就任挨拶 ・ 新任部長の紹介 ※新型コロナウイルス感染症対策として、会期中の席の移動を認める発言 ・ 会期の決定 (5.31~6.10 11日間) ・ 諸般の報告 ・ 報告 (第1号~第9号) ・ 議案第1号 (人事案件=全員協議会持越し) ・ 諮問第1号 (人事案件=全員協議会持越し) ・ 議案審議 (第3号)
2 6.1 水	休 会	————— (議案検討日)
3 6.2 木	本 会 議	10:01~17:06 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般質問 (6人)
4 6.3 金	本 会 議	10:01~17:28 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般質問 (7人)
5 6.4 土	休 会	—————
6 6.5 日	休 会	—————
7 6.6 月	本 会 議	10:01~18:46 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般質問 (8人)
	議会運営委員会	15:12~18:46 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市長提出追加事件について ・ 付議事件の取扱いについて ・ 各会派提出の要望意見書について
8 6.7 火	本 会 議	10:00~13:55 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般質問 (3人) ・ 議案審議 (第1号、第2号・第11号)
9 6.8 水	各 常 任 委 員 会	10:00~11:58 <ul style="list-style-type: none"> ・ 所管事項
10 6.9 木	各 特 別 委 員 会	10:01~12:04 <ul style="list-style-type: none"> ・ 所管事項
11 6.10 金	議会改革検討会	11:00~11:44 <ul style="list-style-type: none"> ・ 質問時間の見直しについて ・ 倫理条例の制定について
	議会運営委員会	13:00~17:20 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市長提出追加事件について ・ 付議事件の取扱いについて ・ 本日の案件と議事次第について
	本 会 議	13:24~17:20 <ul style="list-style-type: none"> ・ 議案審議 (第4号~第10号、第12号~第15号) ・ 意見書案 (第1号~第4号) ・ その他の議事 (閉会中継続審査の承認、委員派遣の承認)

【第23回臨時会】 4. 7.15 (金) (会期1日)

日 程	会 議 区 分	付 議 事 件
1 7.15 金	議会運営委員会	9:31~10:23 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症対策について ・ 市長提出事件について ・ 付議事件の取扱いについて ・ 会期の決定について ・ 本日の案件と議事次第について

日 程		会 議 区 分		付 議 事 件
		本 会 議	10:00～10:23	<ul style="list-style-type: none"> ・会期の決定 (7.15 1日) ・諸般の報告 ・市長就任挨拶 ・議案審議 (第1号)

【第24回定例会】 4. 9. 2 (金) ～ 9.15 (木) (会期14日間)

日 程		会 議 区 分		付 議 事 件
1	9. 2 金	本 会 議	10:01～10:48	<ul style="list-style-type: none"> ・会期の決定 (9.2～9.15 14日間) ・諸般の報告 ・報告 (第1号～第4号) ・議案第1号・第2号 (人事案件=全員協議会持越し) ・市政に臨む基本方針
2	9. 3 土	休 会	————	
3	9. 4 日	休 会	————	
4	9. 5 月	休 会	————	(議案検討日)
5	9. 6 火	休 会	————	(議案検討日)
6	9. 7 水	休 会	————	(議案検討日)
7	9. 8 木	議会運営委員会	9:31～17:42	<ul style="list-style-type: none"> ・代表質問の通告内容について ・議長提出追加事件及び付議事件の取扱いについて ・要望意見書等の会派への参考配信について
		本 会 議	10:00～17:42	<ul style="list-style-type: none"> ・代表質問 (3人)
8	9. 9 金	本 会 議	10:02～18:13	<ul style="list-style-type: none"> ・代表質問 (2人)
		議会運営委員会	16:40～18:13	<ul style="list-style-type: none"> ・動議の取扱いについて ・各会派提出の要望意見書について
9	9.10 土	休 会	————	
10	9.11 日	休 会	————	
11	9.12 月	本 会 議	10:01～16:32	<ul style="list-style-type: none"> ・代表質問 (1人) ・陳情 (第1号) ・議案審議 (第1号・第2号、第3号～第10号、第11号～第17号、第19号)
12	9.13 火	各 常 任 委 員 会	10:00～14:37	<ul style="list-style-type: none"> ・付議事件及び所管事項
13	9.14 水	各 特 別 委 員 会	10:01～13:49	<ul style="list-style-type: none"> ・所管事項
14	9.15 木	議会改革検討会	11:00～11:09	<ul style="list-style-type: none"> ・倫理条例の制定について
		議会運営委員会	13:00～13:30	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の案件と議事次第について ・決算審査特別委員会の証書類の閲覧について ・委員会視察調査について
		本 会 議	13:13～13:30	<ul style="list-style-type: none"> ・報告 (第5号) ・議案審議 (第18号、第20号～第24号) ・意見書案 (第1号～第3号) ・その他の議事 (閉会中継続審査の承認、委員派遣の承認)

【第25回臨時会】 4.11.15（金） （会期1日）

日 程	会 議 区 分	付 議 事 件	
1 11.15 金	議会運営委員会	9:11～11:03	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策について ・市長提出事件について ・議長・議員提出事件の説明及び付議事件の取扱いについて ・会期の決定について ・本日の案件と議事次第について ・決議案の取扱いについて
	本 会 議	10:00～11:03	<ul style="list-style-type: none"> ・会期の決定（11.15 1日） ・諸般の報告 ・報告（第1号・第2号） ・議案審議（第1号） ・決議案（第1号）
	議会運営委員会	10:49～11:03	<ul style="list-style-type: none"> ・議員提出追加事件及び付議事件の取扱いについて

【第26回定例会】 4.12.1（木）～12.9（金） （会期9日間）

日 程	会 議 区 分	付 議 事 件	
1 12.1 木	本 会 議	10:00～16:55	<ul style="list-style-type: none"> ・総務大臣感謝状の伝達 ・会期の決定（12.1～12.9 9日間） ・諸般の報告 ・報告（第1号） ・諮問第1号（人事案件＝全員協議会持越し） ・議案（第11号） ・一般質問（6人）
	議会運営委員会	12:42～16:55	<ul style="list-style-type: none"> ・一般質問の質問取りやめについて ・議長提出追加事件及び付議事件の取扱いについて ・本日の議事日程について
2 12.2 金	本 会 議	10:00～16:59	<ul style="list-style-type: none"> ・一般質問（7人）
3 12.3 土	休 会	—————	
4 12.4 日	休 会	—————	
5 12.5 月	本 会 議	10:01～17:26	<ul style="list-style-type: none"> ・一般質問（7人）
	議会運営委員会	15:06～17:26	<ul style="list-style-type: none"> ・文教経済委員会の会場変更について ・各会派提出の要望意見書について ・本日の議事日程について
6 12.6 火	本 会 議	10:00～15:06	<ul style="list-style-type: none"> ・一般質問（4人） ・陳情付託（第1号） ・諮問（第1号） ・議案審議（第5号、第6号、第12号、第23号～第30号）
7 12.7 水	各 常 任 委 員 会	10:00～14:04	<ul style="list-style-type: none"> ・付議事件及び所管事項
8 12.8 木	各 特 別 委 員 会	10:00～11:45	<ul style="list-style-type: none"> ・所管事項
9 12.9 金	議会改革検討会	11:00～11:36	<ul style="list-style-type: none"> ・議会基本条例の見直しについて ・引継事項について
	議会運営委員会	13:00～14:22	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の案件と議事次第について

日 程		会 議 区 分		付 議 事 件
		本 会 議	13:15～14:22	<ul style="list-style-type: none"> ・報告（第2号） ・議案審議（第1号～第4号、第7号～第10号、第13号～第20号） ・意見書案（第1号） ・その他の議事（閉会中継続審査の承認、委員派遣の承認）

【第27回定例会】 5. 2.16（木）～ 3.10（金） （会期23日間）

日 程		会 議 区 分		付 議 事 件
1	2.16 木	本 会 議	10:00～13:47	<ul style="list-style-type: none"> ・会期の決定（2.16～3.10 23日間） ・諸般の報告 ・報告（第1号） ・陳情付託（第1号・第2号） ・議案第1号（人事案件＝全員協議会持越し） ・市政方針及び教育行政執行方針 ・議案（第2号～第9号）
2	2.17 金	休 会	————	（議案検討日）
3	2.18 土	休 会	————	
4	2.19 日	休 会	————	
5	2.20 月	休 会	————	（議案検討日）
6	2.21 火	休 会	————	（議案検討日）
7	2.22 水	議会運営委員会	9:30～17:05	<ul style="list-style-type: none"> ・代表質問の通告内容について ・議長提出追加事件及び付議事件の取扱いについて ・要望意見書等の会派への参考配信について ・陳情の取扱いについて
		本 会 議	10:00～17:05	・代表質問（3人）
8	2.23 木	休 会	————	
9	2.24 金	本 会 議	10:00～18:31	<ul style="list-style-type: none"> ・代表質問（3人） ・陳情付託（第3号） ・議案（第1号） ・一般・企業会計予算審査特別委員会設置 ・一般・企業会計予算審査特別委員会正副委員長の指名 ・一般・企業会計予算審査特別委員会理事会設置及び理事の指名
		議会運営委員会	15:10～18:31	・各会派提出の要望意見書及び決議について
10	2.25 土	休 会	————	
11	2.26 日	休 会	————	
12	2.27 月	休 会	————	（議案検討日）
13	2.28 火	各 予 算 審 査 特 別 委 員 会	10:01～17:05	・付議事件審査（新年度予算及び関連議案）
14	3. 1 水	各 予 算 審 査 特 別 委 員 会	10:00～17:06	・付議事件審査（新年度予算及び関連議案）

日 程			会 議 区 分		付 議 事 件
15	3. 2	木	各 予 算 審 査 特 別 委 員 会	10:00～18:52	・ 付議事件審査（新年度予算及び関連議案）
16	3. 3	金	各 予 算 審 査 特 別 委 員 会	10:00～17:05	・ 付議事件審査（新年度予算及び関連議案）
17	3. 4	土	休 会	—————	
18	3. 5	日	休 会	—————	
19	3. 6	月	一般会計予算審 査 特 別 委 員 会	10:01～16:47	・ 付議事件審査（新年度予算）
20	3. 7	火	議会運営委員会	09:43～10:05	・ 市長提出追加事件について ・ 議長・議員提出追加事件について ・ 付議事件の取扱いについて
			本 会 議	10:00～10:05	・ 報告（第2号・第3号） ・ 議案第28号～第30号（人事案件＝全員協議会持越し）
21	3. 8	水	各 常 任 委 員 会	10:00～14:08	・ 付議事件及び所管事項
22	3. 9	木	各 特 別 委 員 会	10:00～14:17	・ 所管事項
23	3.10	金	議会改革検討会	11:00～11:14	・ 引継事項について
			議会運営委員会	12:58～14:42	・ 本日の案件と議事次第について
			本 会 議	13:19～14:42	・ 報告（第4号～7号） ・ 議案（第18号、第20号～第33号） ・ 意見書案（第1号～第3号） ・ 決議案（第1号） ・ その他の議事（閉会中継続審査の承認、委員派遣の承認）

(10) 議決結果表

【第22回定例会】

区 分	件 名	提案者 報告者	月 日	結 果	備 考
報 告 第 1 号	専決処分について (令和3年度苫小牧市一般会計補正予算(第12回))	市 長	5. 31	承 認	
第 2 号	予算の繰越しについて (令和3年度苫小牧市一般会計予算に係る継続費の繰越し)	〃	〃	報 告 終 了	
第 3 号	予算の繰越しについて (令和3年度苫小牧市一般会計予算に係る繰越明許費の繰越し)	〃	〃	〃	
第 4 号	予算の繰越しについて (令和3年度苫小牧市一般会計予算に係る事故繰越しの繰越し)	〃	〃	〃	
第 5 号	予算の繰越しについて (令和3年度苫小牧市下水道事業会計予算に係る建設改良費の繰越し)	〃	〃	〃	
第 6 号	予算の繰越しについて (令和3年度苫小牧市水道事業会計予算に係る継続費の繰越し)	〃	〃	〃	
第 7 号	予算の繰越しについて (令和3年度苫小牧市下水道事業会計予算に係る継続費の繰越し)	〃	〃	〃	
第 8 号	専決処分について (苫小牧市税条例の一部を改正する条例)	〃	〃	承 認	
第 9 号	専決処分について (損害賠償の額の決定及びこれに係る和解)	〃	〃	報 告 終 了	
議 案 第 1 号	苫小牧市公平委員会委員の選任について (松田奏保氏)	〃	6. 7	原 案 同 意	
第 2 号	令和4年度苫小牧市一般会計補正予算(第2回)について	〃	〃	原 案 可 決	
第 3 号	苫小牧市特別職の職員の給与に関する条例等 の一部改正について	〃	5. 31	〃	
第 4 号	苫小牧市民文化ホール条例の制定について	〃	6. 10	〃	
第 5 号	苫小牧市保健センター条例及び苫小牧市診療 所条例の一部改正について	〃	〃	〃	
第 6 号	事業契約の締結について (仮称)苫小牧市民ホール整備運営事業)	〃	〃	〃	
第 7 号	契約の締結について (令和4年度日新団地市営住宅12号棟(5 F60戸)新築主体工事)	〃	〃	〃	
第 8 号	契約の締結について (令和4年度日新団地市営住宅12号棟(5 F60戸)新築衛生設備工事)	〃	〃	〃	
第 9 号	動産の取得について (凍結防止剤散布車)	〃	〃	〃	
第 10 号	指定管理者の指定について	〃	〃	〃	
第 11 号	指定管理者の指定について	〃	6. 7	〃	

区 分	件 名	提案者 報告者	月 日	結 果	備 考
議 案 第 12 号	令和 4 年度苫小牧市一般会計補正予算（第 3 回）について	市 長	6. 10	原 案 可 決	
” 第 13 号	令和 4 年度苫小牧市水道事業会計補正予算（第 1 回）について	”	”	”	
” 第 14 号	動産の取得について （高規格救急自動車）	”	”	”	
” 第 15 号	令和 4 年度苫小牧市一般会計補正予算（第 4 回）について	”	”	”	
諮 問 第 1 号	人権擁護委員候補者の推薦について （大谷和広氏、田中淳子氏）	”	6. 7	可とすることに決定	
意見書案 第 1 号	森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を求める要望意見書	議 員	6. 10	原 案 可 決	
” 第 2 号	2022 年度地方財政の充実・強化に関する 要望意見書	”	”	”	
” 第 3 号	食料自給率向上を求める要望意見書	”	”	”	
” 第 4 号	2022 年度北海道最低賃金改正等に関する 要望意見書	”	”	”	
その他の 議 事 1	閉会中継続審査の承認について	議 長	”	承 認	
その他の 議 事 2	委員派遣の承認について	”	”	”	

【第23回臨時会】

区 分	件 名	提案者 報告者	月 日	結 果	備 考
議 案 第 1 号	令和 4 年度苫小牧市一般会計補正予算（第 5 回）について	市 長	7. 15	原 案 可 決	

【第24回定例会】

区 分	件 名	提案者 報告者	月 日	結 果	備 考
報 告 第 1 号	継続費の精算について （住宅建設事業（日新団地市営住宅 9 号棟） 、新第 2 学校給食共同調理場整備事業及び苫 小牧東小学校及び苫小牧東中学校改築事業（ 中学校校舎及び屋内運動場解体工事））	市 長	9. 2	報 告 終 了	
” 第 2 号	継続費の精算について （高丘浄水場管理棟改築事業）	”	”	”	
” 第 3 号	健全化判断比率及び資金不足比率について	”	”	”	
” 第 4 号	専決処分について （損害賠償の額の決定及びこれに係る和解）	”	”	”	
” 第 5 号	総務委員会審査結果報告について [第24回定例会・陳情第 1 号 採択]	議 長 委員 長	9. 15	報告どおり決定	陳情第 1 号 賛成多数 （反対：新緑、 公明）
陳 情 第 1 号	憲法改正の発議に際し、国民が検討するた めの十分な時間を確保するよう国に求める要望 意見書提出に関する陳情	議 長	9. 12 9. 15	総務委員会付託 採 択	
議 案 第 1 号	苫小牧市教育委員会委員の任命について （岡田秀樹氏）	市 長	9. 12	原 案 同 意	

区 分	件 名	提案者 報告者	月 日	結 果	備 考
議 案 第 2 号	苫小牧市公平委員会委員の選任について (大谷和広氏)	市 長	9.12	原 案 同 意	
第 3 号	令和3年度苫小牧市一般会計歳入歳出決算の 認定について	〃	9.12	一般会計決算審査 特別委員会付託	
			9.15	閉会中継続審査	
第 4 号	令和3年度苫小牧市国民健康保険事業特別会 計歳入歳出決算の認定について	〃	9.12	企業会計決算審査 特別委員会付託	
			9.15	閉会中継続審査	
第 5 号	令和3年度苫小牧市介護保険事業特別会計歳 入歳出決算の認定について	〃	〃	〃	
			〃	〃	
第 6 号	令和3年度苫小牧市後期高齢者医療特別会計 歳入歳出決算の認定について	〃	〃	〃	
			〃	〃	
第 7 号	令和3年度苫小牧市水道事業会計利益剰余金 の処分及び決算の認定について	〃	〃	〃	
			〃	〃	
第 8 号	令和3年度苫小牧市下水道事業会計利益剰余 金の処分及び決算の認定について	〃	〃	〃	
			〃	〃	
第 9 号	令和3年度苫小牧市立病院事業会計決算の認 定について	〃	〃	〃	
			〃	〃	
第 10 号	令和3年度苫小牧市公設地方卸売市場事業会 計決算の認定について	〃	〃	〃	
			〃	〃	
第 11 号	令和4年度苫小牧市一般会計補正予算(第6 回)について	〃	9.12	原 案 可 決	
第 12 号	令和4年度苫小牧市国民健康保険事業特別会 計補正予算(第1回)について	〃	〃	〃	
第 13 号	令和4年度苫小牧市介護保険事業特別会計補 正予算(第1回)について	〃	〃	〃	
第 14 号	令和4年度苫小牧市水道事業会計補正予算(第 2回)について	〃	〃	〃	
第 15 号	令和4年度苫小牧市下水道事業会計補正予算 (第1回)について	〃	〃	〃	
第 16 号	令和4年度苫小牧市立病院事業会計補正予算 (第2回)について	〃	〃	〃	
第 17 号	令和4年度苫小牧市公設地方卸売市場事業会 計補正予算(第1回)について	〃	〃	〃	
第 18 号	苫小牧市議会議員及び苫小牧市長の選挙にお ける選挙運動の公費負担に関する条例の一部 改正について	〃	9.15	〃	
第 19 号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に 伴う関係条例の整備に関する条例の制定につ いて	〃	9.12	〃	
第 20 号	苫小牧市職員の育児休業等に関する条例の一 部改正について	〃	9.15	〃	
第 21 号	苫小牧市税条例等の一部改正について	〃	〃	〃	
第 22 号	苫小牧市手数料条例の一部改正について	〃	〃	〃	
第 23 号	苫小牧市建築基準法施行条例の一部改正につ いて	〃	〃	〃	
第 24 号	動産の取得について (学校用机・椅子)	〃	〃	〃	
意見書案 第 1 号	憲法改正の発議に際し、国民が検討するため の十分な時間を確保するよう国に求める要望 意見書	議 員	〃	〃	賛成多数 (反対：新緑、 公明)

区 分	件 名	提案者 報告者	月 日	結 果	備 考
意見書案 第 2 号	女性デジタル人材育成を推進するための支援を求める要望意見書	議 員	9. 15	原 案 可 決	
第 3 号	教育予算確保、拡充と就学保障の充実に向けた要望意見書	〃	〃	〃	
決議案 第 1 号	総合開発特別委員会設置に関する決議の一部を変更する決議	〃	9. 2	〃	
その他の 議事 1	閉会中継続審査の承認について	議 長	9. 15	承 認	
その他の 議事 2	委員派遣の承認について	〃	〃	〃	

【第25回臨時会】

区 分	件 名	提案者 報告者	月 日	結 果	備 考
報 告 第 1 号	一般会計決算審査特別委員会審査結果報告について	議 長 委員長	11. 15	報 告 ど お り 決 定	
第 2 号	企業会計決算審査特別委員会審査結果報告について 〔第 2 4 回定例会・議案第 3 号 原案認定〕	〃 〃	〃	〃	議案第 5 号、第 6 号賛成多数 (反対：共産)
議 案 第 1 号	令和 4 年度苫小牧市一般会計補正予算（第 7 回）について	市 長	〃	原 案 可 決	
決議案 第 1 号	朝鮮民主主義人民共和国によるミサイル発射に抗議する決議	議 員	〃	〃	

【第26回定例会】

区 分	件 名	提案者 報告者	月 日	結 果	備 考
報 告 第 1 号	専決処分について (訴えの提起)	市 長	12. 1	報 告 終 了	
第 2 号	文教経済委員会審査結果報告について 〔第26回定例会・陳情第 1 号 不採択〕	議 長 委員長	12. 9	報 告 ど お り 決 定	陳情第 1 号 賛成少数 (賛成：市民、 触沢議員)
陳 情 第 1 号	子どもの新型コロナウイルス感染症対策緩和を求める要望意見書提出に関する陳情	議 長	12. 6 12. 9	文教経済委員会付託 不 採 択	
議 案 第 1 号	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について	市 長	12. 9	原 案 可 決	
第 2 号	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について	〃	〃	〃	
第 3 号	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について	〃	〃	〃	
第 4 号	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について	〃	〃	〃	
第 5 号	令和 4 年度苫小牧市一般会計補正予算（第 8 回）について	〃	12. 6	〃	
第 6 号	令和 4 年度苫小牧市立病院事業会計補正予算（第 3 回）について	〃	〃	〃	
第 7 号	苫小牧市議会議員政治倫理条例の制定について	議 員	12. 9	〃	
第 8 号	苫小牧市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	市 長	〃	〃	

区 分	件 名	提案者 報告者	月 日	結 果	備 考
議 案 第 9 号	デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	市 長	12. 9	原 案 可 決	
” 第 10 号	苫小牧市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	議 員	”	”	
” 第 11 号	苫小牧市特別職の職員の給与に関する条例等の一部改正について	市 長	12. 1	”	
” 第 12 号	苫小牧市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	”	12. 6	”	
” 第 13 号	苫小牧市税条例の一部改正について	”	12. 9	”	
” 第 14 号	苫小牧市手数料条例の一部改正について	”	”	”	
” 第 15 号	義務教育学校の設置に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	”	”	”	
” 第 16 号	苫小牧市テクノセンター条例の一部改正について	”	”	”	
” 第 17 号	苫小牧市公設地方卸売市場条例及び苫小牧市公設地方卸売市場事業の設置等に関する条例の一部改正について	”	”	”	
” 第 18 号	苫小牧市屋内ゲートボール場条例の一部改正について	”	”	”	
” 第 19 号	土地の譲渡について	”	”	”	
” 第 20 号	土地の譲渡について	”	”	”	
” 第 21 号	消防指令業務に係る事務の受託に関する協議について	”	”	”	
” 第 22 号	消防指令業務に係る事務の受託に関する協議について	”	”	”	
” 第 23 号	指定管理者の指定について	”	”	”	
” 第 24 号	指定管理者の指定について	”	”	”	
” 第 25 号	指定管理者の指定について	”	”	”	
” 第 26 号	指定管理者の指定について	”	”	”	
” 第 27 号	指定管理者の指定について	”	”	”	
” 第 28 号	指定管理者の指定について	”	”	”	
” 第 29 号	指定管理者の指定について	”	”	”	
” 第 30 号	指定管理者の指定について	”	”	”	
諮 問 第 1 号	人権擁護委員候補者の推薦について (高橋裕美氏、大村千佳氏、西尾一夫氏)	”	”	可とすることに決定	
意見書案 第 1 号	带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める要望意見書	議 員	12. 9	原 案 可 決	
その他の 議事 1	閉会中継続審査の承認について	議 長	”	承 認	

区 分	件 名	提案者 報告者	月 日	結 果	備 考
その他の 議事 2	委員派遣の承認について	議 長	12. 9	承 認	

【第27回定例会】

区 分	件 名	提案者 報告者	月 日	結 果	備 考
報 告 第 1 号	専決処分について (損害賠償の額の決定及びこれに係る和解)	市 長	2. 16	承 認	
第 2 号	一般会計予算審査特別委員会審査結果報告に ついて [第27回定例会・議案第10号 原案可決]	議 長 委員長	3. 7	報告どおり決定	
第 3 号	企業会計予算審査特別委員会審査結果報告に ついて [第27回定例会・議案第11号～第17号、第19号 原案可決]	〃 〃	〃 〃	〃	
第 4 号	総務委員会審査結果報告について [第27回定例会・陳情第2号 不採択、陳情3号 不採択]	〃 〃	3. 10	〃	陳情第2号 賛成少数 (賛成：民主、 共産、触沢議員) 陳情第3号 賛成少数 (賛成：共産)
第 5 号	文教経済委員会審査結果報告について [第27回定例会・陳情第1号 不採択]	〃 〃	〃 〃	〃	
第 6 号	総合開発特別委員会調査結果報告について	〃 〃	〃 〃	報 告 終 了	
第 7 号	安全・安心及び市民ホールに関する特別委員 会調査結果報告について	〃 〃	〃 〃	〃	
陳 情 第 1 号	小中学校におけるマスク着用に関する幅広い 理解と周知を求める陳情	議 長	2. 16 3. 10	文教経済委員会付託 不 採 択	
第 2 号	原発の運転原則40年規定を守ることを国に 求める要望意見書提出に関する陳情	〃	〃 〃	総務委員会付託 不 採 択	
第 3 号	国立病院の機能強化を求める要望意見書提出 に関する陳情	〃	2. 24 〃	総務委員会付託 不 採 択	
議 案 第 1 号	苫小牧市固定資産評価審査委員会委員の選任 について (中原茂人氏)	市 長	2. 24	原 案 同 意	
第 2 号	令和4年度苫小牧市一般会計補正予算(第9 回)について	〃	2. 16	原 案 可 決	
第 3 号	令和4年度苫小牧市国民健康保険事業特別会 計補正予算(第2回)について	〃	〃	〃	
第 4 号	令和4年度苫小牧市介護保険事業特別会計補 正予算(第2回)について	〃	〃	〃	
第 5 号	令和4年度苫小牧市後期高齢者医療特別会計 補正予算(第1回)について	〃	〃	〃	
第 6 号	令和4年度苫小牧市水道事業会計補正予算 (第3回)について	〃	〃	〃	
第 7 号	令和4年度苫小牧市下水道事業会計補正予算 (第2回)について	〃	〃	〃	
第 8 号	令和4年度苫小牧市立病院事業会計補正予算 (第4回)について	〃	〃	〃	
第 9 号	令和4年度苫小牧市公設地方卸売市場事業会 計補正予算(第2回)について	〃	〃	〃	

区 分	件 名	提案者 報告者	月 日	結 果	備 考
議 案 第 10 号	令和 5 年度 苫小牧市一般会計予算について	市 長	2. 24	一般会計予算審査 特別委員会付託	
			3. 7	原 案 可 決	
" 第 11 号	令和 5 年度 苫小牧市国民健康保険事業特別会計予算について	"	"	企業会計予算審査 特別委員会付託	
			"	原 案 可 決	
" 第 12 号	令和 5 年度 苫小牧市介護保険事業特別会計予算について	"	"	"	
			"	"	
" 第 13 号	令和 5 年度 苫小牧市後期高齢者医療特別会計予算について	"	"	"	
			"	"	
" 第 14 号	令和 5 年度 苫小牧市水道事業会計予算について	"	"	"	
			"	"	
" 第 15 号	令和 5 年度 苫小牧市下水道事業会計予算について	"	"	"	
			"	"	
" 第 16 号	令和 5 年度 苫小牧市立病院事業会計予算について	"	"	"	
			"	"	
" 第 17 号	令和 5 年度 苫小牧市公設地方卸売市場事業会計予算について	"	"	"	
			"	"	
" 第 18 号	苫小牧市手数料条例及び苫小牧市自然環境保全条例の一部改正について	"	3. 10	原 案 可 決	
" 第 19 号	苫小牧市国民健康保険条例の一部改正について	"	2. 24	企業会計予算審査 特別委員会付託	
			3. 7	原 案 可 決	
" 第 20 号	苫小牧市モーラップ樽前荘条例の廃止について	"	3. 10	原 案 可 決	
" 第 21 号	苫小牧市立小中学校設置条例の一部改正について	"	"	"	
" 第 22 号	苫小牧市美術博物館条例の一部改正について	"	"	"	
" 第 23 号	苫小牧市青少年問題協議会条例の廃止について	"	"	"	
" 第 24 号	苫小牧市立病院事業の設置等に関する条例の一部改正について	"	"	"	
" 第 25 号	苫小牧市建築基準法施行条例の一部改正について	"	"	"	
" 第 26 号	市道路線の廃止について	"	"	"	
" 第 27 号	市道路線の認定について	"	"	"	
" 第 28 号	苫小牧市副市長の選任について (山本俊介氏)	"	"	原 案 同 意	
" 第 29 号	苫小牧市監査委員の選任について (斉藤和典氏)	"	"	"	
" 第 30 号	苫小牧市固定資産評価員の選任について (木村淳氏)	"	"	"	
" 第 31 号	令和 4 年度 苫小牧市一般会計補正予算 (第 10 回) について	"	"	原 案 可 決	
" 第 32 号	令和 5 年度 苫小牧市一般会計補正予算 (第 1 回) について	"	"	"	
" 第 33 号	土地の譲渡について	"	"	"	

区 分	件 名	提案者 報告者	月 日	結 果	備 考
意見書案 第 1 号	新型コロナウイルス感染症の後遺症の方々の 日常を守る取組の強化を求める要望意見書	議 員	3.10	原 案 可 決	
〃 第 2 号	アスベスト被害を抑える対策の強化を求める 要望意見書	〃	〃	〃	
〃 第 3 号	新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけ を5類に移行した後も、医療機関や感染者へ の公的支援を継続することを求める要望意見 書	〃	〃	〃	
決議案 第 1 号	朝鮮民主主義人民共和国によるミサイル発射 に抗議する決議	〃	〃	〃	
その他の 議事 1	閉会中継続審査の承認について	議 長	〃	承 認	
その他の 議事 2	委員派遣の承認について	〃	〃	〃	

(11) 代表・一般質問内容

【第22回定例会】

一般質問

年月日	質問 順位	氏名 (会派)	質問内容
4. 6. 2	1	首藤孝治 (改革フォーラム)	1 中心市街地活性化 (1) 旧サンプラザビル問題について
	2	富岡隆 (日本共産党市議団)	1 まちづくりの政治姿勢 (1) I Rの問題について (2) 旧サンプラザビルの問題について (3) ふくしのまちづくりの問題について (4) 公共交通の問題について
	3	谷川芳一 (会派市民)	1 経済産業行政 (1) 水素ステーション整備について 2 環境行政 (1) ゼロカーボンの取組について (2) 明德町1丁目の動物取扱い業者について 3 上下水道行政 (1) ゼロカーボンの今後の取組について (2) 施設への取組体制について 4 都市建設行政 (1) 公園トイレの整備について 5 教育行政 (1) 学校給食会の食材の発注について
	4	矢嶋翼 (新緑)	1 危機管理 (1) 有事における市民の保護 ア ミサイルへの対応について イ 軍用ドローンへの対応について ウ 諜報員及び工作員への対応について エ 自衛隊の能力強化及び協力について オ 北極海航路について カ 市長の危機認識について 2 教育 (1) 英語教育について (2) 樽前小学校の募集人数制限について
	5	池田謙次 (公明党議員団)	1 ゼロカーボン (1) 脱炭素先行地域について (2) 市民、企業へのアプローチについて (3) 水素の利活用について (4) 公用車のEV車、水素自動車導入によるPRの考え方について (5) 公共施設への導入について 2 災害対策 (1) 防災タワーと高台の設置について (2) 勇払と西側地域への避難所及び高台の設置について

年月日	質問 順位	氏名 (会派)	質問内容
	6	松尾省勝 (民主クラブ)	1 男女平等参画行政 (1) LGBTQに関するパートナーシップ宣誓制度導入と都市間広域連携について 2 福祉行政 (1) 民生委員の改選期に伴う推薦経過について (2) 保護司への支援体制について 3 市民情報行政 (1) デジタル田園都市国家構想について (2) ICT利活用による市民サービスの向上策について 4 子育て支援行政 (1) 子育ての包括的支援の実施体制について (2) 子どもの見守り強化に向けた情報交換と把握について (3) 貧困対策と虐待予防を兼ねた見守り強化事業への手挙げについて
4. 6. 3	7	牧田俊之 (改革フォーラム)	1 行政改革 (1) 放課後児童クラブ業務の民間委託について 2 財政 (1) 公募型プロポーザルについて 3 ゼロカーボン推進 (1) 再生可能エネルギー基本戦略について (2) 脱炭素先行地域選定について
	8	藤田広美 (公明党議員団)	1 経済対策 (1) 原油価格・物価高騰への支援策について 2 健康行政 (1) がん対策について (2) 糖尿病等の重症化予防について (3) 帯状疱疹ワクチンについて 3 教育行政 (1) 不登校対策について
	9	橋本智子 (民主クラブ)	1 消費生活行政 (1) 成年年齢の引下げについて (2) 新型コロナウイルス感染症による影響について 2 環境行政 (1) ゼロカーボンシティの取組について 3 教育行政 (1) 環境教育について 4 個人情報保護法の改正について
	10	大野正和 (公明党議員団)	1 市民行政 (1) 市民へのデジタル推進について 2 防災行政 (1) マイ・タイムライン作成の啓発について (2) 防災備蓄品の扱いについて

年月日	質問 順位	氏 名 (会 派)	質 問 内 容
			(3) 災害時の井戸の活用について (4) (仮称) 防災連絡会議の必要性について 3 健康行政 (1) 依存症について 4 少子化対策 (1) 不妊・不育症治療について
	11	喜 多 新 二 (新 緑)	1 政治姿勢 (1) 介護人材の確保について (2) 市職員の離職防止策について (3) 臨時特別給付金支給等の誤送金防止体制について (4) 港湾都市におけるごみポイ捨て問題について
	12	竹 田 秀 泰 (新 緑)	1 政治姿勢 (1) 道路維持について (2) 霊葬場について 2 教育行政 (1) 樽前小学校について
	13	越 川 慶 一 (改革フォーラム)	1 苫小牧市総合計画 (1) 第6次基本計画の評価・検証について (2) 次期計画の課題と改定のポイントについて (3) 改定のスケジュールについて 2 津波対策 (1) 津波ハザードマップの改定作業について (2) 津波避難施設の整備について 3 教育行政 (1) タブレット端末導入後の取組について (2) 部活動指導員の取組について
4. 6. 6	14	山 谷 芳 則 (新 緑)	1 教育行政 (1) コミュニティスクールについて 2 環境行政 (1) コロナ禍における家庭ごみ排出量の推移について (2) ごみ自己搬入時の混雑緩和について 3 スポーツ行政 (1) コロナ禍におけるスポーツ合宿・大会誘致について
	15	宇 多 春 美 (新 緑)	1 男女平等参画社会 (1) 市民会議について (2) 地域女性活躍推進事業について 2 性教育について 3 福祉行政 (1) 認知症対策について
	16	岩 田 薫 (民主クラブ)	1 J R北海道 (1) J R日高線バス転換後の影響について (2) 今年度の取組について 2 駅前再開発

年 月 日	質問 順位	氏 名 (会 派)	質 問 内 容
			(1) 進捗状況について (2) 苫小牧駅周辺ビジョン事業について (3) 苫小牧をPRする記念館について 3 津波対策 (1) 東日本大震災以降の対策について (2) 海岸に隣接する地域の対策について (3) 北海道太平洋沿岸の津波浸水想定公表の対応について 4 新型コロナウイルス感染症 (1) 現在の感染状況について (2) 市民への啓発について 5 市長の情報発信 (1) ブログ等の発信について
	17	原 啓 司 (日本共産党市議団)	1 新型コロナウイルス対策 (1) 市民への情報提供について (2) 自宅療養者の対応について (3) 保健所の体制と支援について (4) 検査体制について (5) ワクチン接種について (6) 今後の感染対策について 2 緑のまちづくり (1) 街路樹について (2) 緑の記念品について
	18	木 村 司 (新 緑)	1 政治姿勢 (1) 中心市街地 ア 旧サンプラザビル問題について イ 都市再生コンセプトプランについて 2 環境行政 (1) 共同墓について (2) 霊園管理について 3 教育行政 (1) 不登校について
	19	小野寺 幸 恵 (日本共産党市議団)	1 凍結防止剤散布作業について 2 物価高騰など市民生活に及ぼす影響と対策について
	20	大 西 厚 子 (公明党議員団)	1 健康行政 (1) HPVワクチンについて (2) リトルベビーハンドブックについて 2 防災対策 (1) 液体ミルクの備蓄について (2) 女性の視点の防災について 3 教育行政 (1) 長生大学について (2) 学校トイレへの生理用品の設置について

年月日	質問 順位	氏名 (会派)	質問内容
	21	松井雅宏 (改革フォーラム)	1 町内会LED防犯灯について 2 高齢者ドライバーの事故対策について 3 インボイス制度の対応について 4 子ども食堂等への支援について
4. 6. 7	22	桜井忠 (会派市民)	1 ワクチン行政 (1) 人口動態について (2) 予防接種法について
	23	金澤俊 (新緑)	1 市長の政治姿勢 (1) ゼロカーボンシティに向けた取組 ア 脱炭素先行地域選定に向けた取組について イ 苫小牧市再生可能エネルギー基本戦略について (2) データセンターの設置について (3) スマートシティ構想に向けた取組について (4) 外国人材の確保と生活支援について (5) 市民の安全・安心確保の取組 ア 有事の際の対応について イ 新たな津波対策について 2 教育政策 (1) 部活動の今後の在り方について
	24	触沢高秀 (無所属)	1 オーガニックビレッジ (1) 学校給食のオーガニック食材について (2) オーガニックビレッジ宣言について

【第24回定例会】

代表質問

年月日	質問 順位	氏名 (会派)	質問内容
4. 9. 8	1	木村司 (新緑)	1 基本政策 (1) 行政改革について (2) 財政運営計画の策定と財政基盤の強化について (3) 柔軟な組織編成 ア 女性管理職割合の引き上げについて イ 組織横断チームの構築について (4) デジタル技術の活用 ア スマートシティ構想について イ 地域BWAについて (5) 民間活力導入について (6) 広域連携について (7) 公有財産の有効活用について (8) 第二共同墓について (9) まちなかの施策について (10) 生産年齢人口の施策について (11) 20年先を見据えたまちづくり ア 統合型リゾート（IR）について

年月日	質問 順位	氏 名 (会 派)	質 問 内 容
			<ul style="list-style-type: none"> イ とまこまい版M a a Sについて ウ 観光客の誘致促進について (12) 新千歳空港について (13) 物流機能の強化について (14) アイスホッケーの振興について (15) 誰もが働きやすい環境づくり ア 介護人材の確保について イ 審議会等の若年層委員について (16) 重層的支援体制整備事業について (17) 介護現場における I C Tの活用について (18) 地域包括ケアシステムについて (19) ボランティアセンター機能の充実について (20) コウノトリ検査事業について (21) 市立病院の環境整備について (22) 公園機能について (23) 市民の生命・財産・安全を守る施策 ア 津波ハザードマップについて イ 健康寿命北海道ナンバー1の取組について (24) ゼロカーボンシティの実現について (25) ごみの減量について (26) 給水スポット整備について (27) クリーンでみどり豊かなまち ア 公園灯のL E D化について イ 生物多様性地域戦略について (28) 気候変動危機対策の強化について (29) 北海道大学苫小牧研究林の活用について (30) エゾシカの捕獲数拡大について (31) 男女平等参画都市宣言の理念を踏まえたまちづくりについて (32) 国際化の推進について (33) スポーツや文化芸術の振興 ア 総合体育館について イ 美術博物館について (34) 子どもたちの学習環境について (35) 北洋大学との連携について (36) パートナーシップ制度について (37) ふるさと教育について
	2	藤 田 広 美 (公明党議員団)	<ul style="list-style-type: none"> 1 基本政策 (1) 持続可能な行財政運営について (2) 柔軟な組織運営について (3) スマートシティの形成について (4) 民間活力導入と広域連携について (5) 公有財産の有効活用について

年月日	質問 順位	氏 名 (会 派)	質 問 内 容
			<ul style="list-style-type: none"> (6) 駅前再整備について (7) 20年先を見据えたまちづくりについて (8) 物流機能の強化について (9) とまこまいの魅力向上について (10) 誰もが働きやすい環境づくりについて (11) 誰もが心豊かに暮らせるまちづくりについて (12) 多様な主体が交流・共生するまちづくりについて (13) 子育て世代の応援と健全育成について (14) 安心して快適な都市環境の整備について (15) 市民の生命・財産・安全を守る施策について (16) 温室効果ガス実質排出量ゼロを目指した取組について (17) ごみの減量、リサイクルの推進、まちの環境美化について (18) 気候変動危機対策の強化について (19) 自然環境の保全と活用、野生動物対策について (20) 男女平等参画都市宣言の理念を踏まえたまちづくりについて (21) まちの国際化について (22) スポーツや文化芸術の振興について (23) 子どもたちの学習環境の整備について (24) 誰もが学び、参加できる喜びが得られる事業の実施について
	3	松尾省勝 (民主クラブ)	<p>1 政治姿勢</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) コロナ禍における地域経済対策について (2) 日本海溝・千島海溝沿いの地震 <ul style="list-style-type: none"> ア 巨大津波の対策について イ 自主防災組織の活動と避難計画等について (3) 中心市街地活性化問題について (4) 家庭ごみの戸別収集モデル事業について (5) ゼロカーボン施策に係る脱炭素先行地域への再挑戦について (6) 自然環境の保全について (7) 子育て世代への支援について (8) 地域包括ケアシステム取組強化について (9) 平和の推進について (10) 市職員が働きやすい環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ア 離職対策及びハラスメント対策について イ 任期付職員の処遇について ウ 福祉部執務室の狭隘化について <p>2 教育行政</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 苫小牧市学校教育推進計画について (2) 教職員を対象としたLGBTQ施策の展開について

年 月 日	質問 順位	氏 名 (会 派)	質 問 内 容
4. 9. 9	4	越 川 慶 一 (改革フォーラム)	1 政治姿勢 (1) 5期目に向けて 2 基本方針 (1) 持続可能な行財政運営について (2) スマートシティ構想について (3) 民間活力の導入 ア 浄水場運転管理業務について イ 今後の民間活力の活用及び行政改革について (4) 公有財産の有効活用 ア 来庁者向けスペースの整備について イ 市営住宅の整備について (5) 旧サンプラザビルについて (6) 駅周辺ビジョンについて (7) 企業誘致活動について (8) 苫小牧都市再生コンセプトプランについて (9) 人流の活性化と物流機能の強化について (10) とまこまいの魅力向上 ア アイスホッケーの振興について イ みなとエリアのにぎわい創出について (11) 苫小牧市健康増進計画の改定について (12) 子育て世代の応援と健全育成について (13) ウトナイ地区の勇の原公園の整備について (14) 市民の生命・財産・安全を守る施策 ア 津波浸水予測について イ 健康寿命北海道ナンバー1の都市について (15) 温室効果ガス実質排出量ゼロについて (16) ごみの減量、リサイクルの推進、まちの環境美化 ア 食品ロス対策について イ プラスチックごみの削減について ウ ごみ戸別収集の検討状況について (17) ワークেশョンの拠点化について (18) 気候変動危機対策の強化について (19) 自然環境の保全と活用、野生動物対策 ア 樽前ガローヤトキサタマップ湿原の有効な利活用について イ エゾシカの捕獲数拡大やジビエとしての活用について (20) 英検受験費用の補助について (21) スポーツや文化芸術の振興 ア 総合体育館の整備計画について イ 科学センターの移転改修方針の決定について ウ スケートボードの練習環境の整備について (22) 子どもたちの学習環境

年 月 日	質問 順位	氏 名 (会 派)	質 問 内 容
			ア G I G Aスクール構想について イ 小中学校の金融教育について ウ 学校規模適正化の現状と課題について
	5	小野寺 幸 恵 (日本共産党市議団)	1 政治姿勢 (1) 市長の言動等について (2) 統一協会について (3) 国葬について (4) まちづくりの基本姿勢 ア 5期目の基本目標、基本テーマについて イ I Rについて (5) 新型コロナウイルス感染症対策について (6) 駅前のにぎわい創出と旧サンプラザビル問題の解決について (7) 気候変動危機の打開とゼロカーボンシティ ア 地域新電力の推進について イ 沼ノ端クリーンセンターの延命について ウ 給食残渣のバイオガス発電について (8) 原発について (9) 行政改革 ア J F Eリサイクルプラザの指定管理者制度導入について イ 動物火葬場の廃止について ウ 民間活力活用の財政効果と働き方の実態について (10) 地域経済対策 ア 物価高騰等の対策について イ 中小企業支援について ウ 消費税の減税について (11) 介護人材の確保と介護ロボット、I C T化について (12) 健康寿命について (13) 平和行政 ア 軍拡と日本国憲法について イ 港まつりの自衛隊車両展示について (14) 平等社会 ア ジェンダー平等と統一協会について イ 男女の賃金格差の解消について ウ 消防の女性職員の比率向上について エ 生理の平等について (15) 子どもの命を守る取組について (16) 金融教育について
4. 9. 12	6	桜 井 忠 (会派市民)	1 誇りの持てるまちづくり (1) 宮沢賢治来苦100周年について (2) 安倍元総理の国葬での半旗掲揚について (3) 世界的馬産地苦小牧について (4) I Rの考え方について

年 月 日	質問 順位	氏 名 (会 派)	質 問 内 容
			<p>2 新型コロナ対策</p> <p>(1) 平均寿命について</p> <p>(2) 愛知県知事の記者会見について</p> <p>(3) PCR検査の国会審議について</p> <p>(4) 世界一の感染状況について</p> <p>(5) 2類相当の見直しについて</p> <p>(6) ケンタウロス株について</p> <p>(7) 黙食について</p> <p>3 ワクチン行政</p> <p>(1) 新型コロナワクチン</p> <p>ア 岸田総理の罹患について</p> <p>イ 重症化を抑える統計について</p> <p>ウ 苫小牧民報のなんでもトークについて</p> <p>エ ワクチンの費用について</p> <p>オ 札幌禎心会病院の説明書について</p> <p>カ 小児ワクチン接種について</p> <p>キ 苫小牧で起きた保管方法の違いについて</p> <p>(2) 子宮頸がんワクチンについて</p> <p>4 防災行政</p> <p>(1) 防災無線について</p> <p>(2) 津波ハザードマップについて</p> <p>(3) 避難場所の変更について</p> <p>(4) 緊急物資集積場所の変更について</p> <p>(5) 港湾の被害などについて</p> <p>5 ダブルポート</p> <p>(1) 新千歳空港の新型コロナの影響からの復活について</p> <p>(2) 苫小牧港のウクライナ紛争の影響等について</p> <p>6 水素社会</p> <p>(1) 苫小牧型水素社会の方向性について</p> <p>(2) 水素ステーション設置について</p> <p>7 駅周辺の問題</p> <p>(1) JR北海道との駅舎改築問題について</p> <p>(2) 旧バスターミナルの老朽化について</p> <p>(3) (仮称) 新苫小牧駅について</p> <p>8 苫小牧市民文化ホール</p> <p>(1) 教育施設としての考え方について</p> <p>(2) 使用料の考え方について</p> <p>(3) 避難施設としての位置づけについて</p> <p>(4) 国道36号線からの動線問題について</p> <p>(5) 題字について</p> <p>9 教育行政</p> <p>(1) 長期休暇について</p>

年月日	質問 順位	氏名 (会派)	質問内容
			(2) 学校給食について (3) 苫小牧東小・中学校建設工事に関することについて

【第26回定例会】

一般質問

年月日	質問 順位	氏名 (会派)	質問内容
4.12.1	1	小野寺 幸 恵 (日本共産党市議団)	1 民間委託等の適正な労働条件の確保について 2 多様な性の尊重について 3 自衛官募集における除外申請について 4 雨水流出抑制対策について
	2	谷 川 芳 一 (会派市民)	1 総務行政 (1) 職員の服務について 2 健康こども行政 (1) 新型コロナワクチンの副反応について 3 教育行政 (1) 教職員の服務について
	3	金 澤 俊 (新 緑)	1 行政改革 (1) 徴収一元化について (2) 行政改革の効果と職員配置について 2 環境政策 (1) 第4次環境基本計画について 3 スポーツ政策 (1) スポーツによるにぎわい創出について (2) 総合体育館の建て替えについて 4 教育行政 (1) 学校施設改修とバリアフリー化について (2) 不登校対策について
	4	藤 田 広 美 (公明党議員団)	1 教育行政 (1) 不登校対策について (2) 学校適応指導教室について (3) ディスレクシアについて (4) 学校施設のバリアフリー化について (5) セカンドブック事業について 2 環境行政 (1) ゼロカーボンシティの取組について (2) 重点対策加速化事業の活用について
	5	岩 田 薫 (民主クラブ)	1 物価高騰対策 (1) 公共施設への影響について 2 JR北海道 (1) 利用促進の取組について (2) 今後の取組について 3 駅前再開発 (1) 進捗状況について

年月日	質問 順位	氏 名 (会 派)	質 問 内 容
			(2) 苫小牧駅周辺ビジョンについて (3) 苫小牧駅周辺の景観条例制定について 4 カーボンニュートラル (1) 第4次環境基本計画について (2) 今後の取組について 5 学校再編 (1) 義務教育学校について (2) 今後の方向について
	6	牧 田 俊 之 (改革フォーラム)	1 教育 (1) 学校教育運営協議会制度（コミュニティ・スクール）導入 について 2 ゼロカーボン (1) 脱炭素先行地域選定について (2) 水素について (3) Z E Hについて (4) 環境基本計画について
4.12. 2	7	触 沢 高 秀 (無所属)	1 オーガニックビレッジ (1) ゲノム編集食品に対する考えについて (2) 学校給食の食材について (3) オーガニックビレッジ宣言について (4) 第4次環境基本計画における考えについて
	8	橋 本 智 子 (民主クラブ)	1 市民自治について 2 男女平等参画における多様性への対応について 3 フェアトレードについて 4 樽前ガローについて 5 不登校児童生徒の支援について
	9	竹 田 秀 泰 (新 緑)	1 政治姿勢 (1) インフレスライドについて (2) 市営住宅改築について (3) 保育施設整備について (4) モーラップ樽前荘について
	10	越 川 慶 一 (改革フォーラム)	1 立地適正化計画 (1) 検討状況について (2) 今後の進め方について 2 次世代型交通システム (1) 自動運転バス実証実験について 3 スポーツ政策 (1) とまこまいスポーツフェスティバル2022について (2) ときわスケートセンターについて
	11	原 啓 司 (日本共産党市議団)	1 苫小牧市立中央図書館 (1) 入館者数、貸出数減少の対策について (2) 蔵書の充実について (3) レファレンスについて

年 月 日	質問 順位	氏 名 (会 派)	質 問 内 容
			(4) 文部科学省からの8月30日付事務連絡について 2 新型コロナウイルス対策 (1) 第8波の対策について (2) ワクチンの廃棄について
	12	木 村 司 (新 緑)	1 政治姿勢 (1) 立地適正化計画について (2) 公共施設適正配置基本計画について (3) 駅周辺ビジョンについて
	13	佐々木 修 司 (民主クラブ)	1 政治姿勢 (1) 2023年度予算について 2 住民税非課税世帯等への臨時特別給付金について 3 町内会活動の持続可能性の向上について 4 町名について
4.12.5	14	山 谷 芳 則 (新 緑)	1 教育行政 (1) 全国学力・学習状況調査結果について 2 青少年育成 (1) 未来創造子ども会議について 3 スポーツ行政 (1) 民間事業者のスポーツ施設への支援について
	15	宇 多 春 美 (新 緑)	1 福祉行政 (1) 第9期介護保険事業計画について (2) 認知症対策について (3) ひきこもり支援について 2 性教育について 3 まちなか再生総合プロジェクト (1) まちゼミについて
	16	喜 多 新 二 (新 緑)	1 政治姿勢 (1) 投票率向上について 2 教育行政 (1) 子どもの権利条約に基づく人権教育について 3 福祉行政 (1) 多目的トイレについて (2) 市イベント事業におけるバリアフリーについて
	17	大 野 正 和 (公明党議員団)	1 公共施設 (1) トイレのサンタリーボックス設置について 2 防災行政 (1) 防災ハンドブックとハザードマップについて 3 福祉行政 (1) 灯油運搬のお手伝い事業について 4 公園事業 (1) 公園の在り方について 5 教育施設 (1) 小中学校における樹木の管理について

年 月 日	質問 順位	氏 名 (会 派)	質 問 内 容
	18	桜 井 忠 (会派市民)	1 コロナウイルス (1) コロナウイルス感染症について (2) ワクチンについて (3) マスクについて 2 データセンターの誘致について
	19	大 西 厚 子 (公明党議員団)	1 福祉行政 (1) 高齢者支援事業助成金について 2 子育て支援 (1) 出産・子育て応援交付金事業について (2) 病児・病後児保育について 3 健康行政 (1) HPVワクチンについて 4 労働行政 (1) 女性デジタル人材の活用について 5 環境行政 (1) 鹿対策について
	20	松 井 雅 宏 (改革フォーラム)	1 鹿対策について 2 中小企業振興条例について 3 マイナンバーカードについて 4 カスタマーハラスメント対策について
4.12.6	21	松 尾 省 勝 (民主クラブ)	1 男女平等参画行政 (1) LGBTQに関するパートナーシップ制度導入について 2 市民行政 (1) マイナンバーカード発行にかかわる取組について (2) スケアードストレイトの活用について 3 都市建設行政 (1) 街路樹の管理体制と住民との合意形成 ア 街路樹による悪影響について イ 住民との合意形成について ウ 景観を意識した計画的な取組について 4 環境行政 (1) 動物愛護 ア 国のガイドラインからの展開について イ 多職種が連携した多頭飼育への対応について ウ 適正飼育を進める取組について
	22	首 藤 孝 治 (改革フォーラム)	1 家庭ごみの戸別収集事業について 2 若者地元定着促進事業について 3 都市再生コンテンツ創出事業について
	23	矢 嶋 翼 (新 緑)	1 未来戦略としての教育 (1) 教育委員会について (2) 新たな教育行政について (3) 高校の魅力化について (4) 小・中学校の民間運営について

年 月 日	質問 順位	氏 名 (会 派)	質 問 内 容
			2 防犯 (1) 窃盗犯罪対策について 3 まちづくり推進 (1) 選ばれるまちについて 4 健康支援 (1) 骨髄バンクドナー助成制度について 5 観光 (1) 飛行機を望む観光スポット設置について
	24	富 岡 隆 (日本共産党市議団)	1 日米共同統合演習とオスプレイについて 2 旧公立保育園の管理と跡地の活用について 3 保育園の待機児童対策について

【第27回定例会】

代表質問

年 月 日	質問 順位	氏 名 (会 派)	質 問 内 容
5. 2. 22	1	木 村 司 (新 緑)	1 市政方針 (1) 市政への想い ア 政治姿勢について (2) 時代認識 ア 新型コロナウイルス感染症への対応について イ スマートシティの推進について ウ 少子化対策について (3) まちづくりの姿勢 ア 立地適正化計画について (4) 政策における共通理念について (5) 基本政策 ア 市民によるまちづくりの推進 (ア) 地域活動の促進について (イ) 市民自治の推進について (ウ) 男女平等参画の推進について イ 健全な行財政運営の推進 (ア) 働き方改革について (イ) 行政改革について (ウ) 予算編成について (エ) 財政運営持続化計画について (6) 主要施策 ア 保健予防対策の充実について イ 医療体制の整備・充実について ウ 地域福祉の推進について エ 高齢者福祉の推進について オ 障がい者福祉の推進について カ 子育て支援の充実について キ 工業の振興について

年 月 日	質問 順位	氏 名 (会 派)	質 問 内 容
			ク 商業の振興 (ア) 中小企業創業サポート事業について (イ) とまチョップポイント事業について (ウ) 苫小牧市中小企業振興計画について ケ 企業立地の促進について コ 農水産業の振興について サ 林業の振興について シ 観光の振興について ス 雇用・労働環境の整備・充実について セ 新千歳空港の拠点形成強化と周辺環境対策の推進 (ア) 新千歳空港における今後の取組について (イ) 統合型リゾートについて ソ 港湾整備について タ 苫東開発の推進について チ 北洋大学について ツ 市民スポーツの推進について テ 苫小牧市民文化ホールについて ト 国際・国内交流の推進について ナ ゼロカーボンについて ニ 自然環境の保全について ヌ 生活衛生の充実について ネ ごみの減量とリサイクルの推進について ノ まちなかの活性化について ハ 居住環境の充実 (ア) 市営住宅の整備について (イ) 空き家対策について (ウ) 公園整備について ヒ 上下水道の整備・健全な維持管理 フ 道路の整備について ヘ 公共交通の充実について ホ 消防・救急体制の充実について マ 防災体制の充実について ミ 交通安全の推進について ム 防犯対策の推進について メ 消費生活の安定 (ア) 苫小牧市消費者教育推進計画について (イ) 公設地方卸売市場について 2 教育行政執行方針 (1) 課題の認識と取り組み方針について (2) 不登校問題について (3) コミュニティ・スクールについて (4) 美術博物館について

年月日	質問 順位	氏名 (会派)	質問内容
	2	池田謙次 (公明党議員団)	1 安全・安心で快適に暮らすまち (1) 防災タワーと高台の避難所の設置について (2) 災害時の支援拠点について 2 人が集まる魅力の創造 (1) 陣痛タクシーについて (2) 学校給食無償化の拡大について (3) 奨学金支援制度と結婚新生活支援制度について 3 自然と環境にやさしいまち (1) 戸別収集のさらなる拡大について (2) 新型ごみステーションの拡大について 4 ゼロカーボンシティへの挑戦 (1) 給食残渣の利活用について (2) 庁舎内、公共施設、教育施設でのゼロカーボンについて 5 観光の振興 (1) ぷらっとみなと市場の耐震化と支援について (2) 滞在型宿泊プランについて
	3	岩田薫 (民主クラブ)	1 新型コロナウイルス感染症 (1) 現状認識について (2) 感染症法上の引下げについて (3) 市立病院について 2 2023年度予算 (1) 予算編成について (2) 工事の発注について 3 駅周辺ビジョンと旧サンプラザビル (1) 苫小牧駅周辺ビジョンについて (2) 旧サンプラザビルの解体について 4 JR北海道 (1) JR室蘭線と日高線の維持存続について (2) 日高線の貨物利用について (3) 新千歳空港のスルー化について 5 人口減少対策 (1) 少子高齢化対策について (2) 医療費及び給食費について 6 ゼロカーボン (1) 官民連携について (2) 教育について 7 安全・安心の苫小牧 (1) 津波対策について (2) 大雨対策について (3) 災害時の協定の在り方について 8 企業誘致 (1) 温度管理型冷凍冷蔵庫の活用について 9 自然を守る取組

年 月 日	質問 順位	氏 名 (会 派)	質 問 内 容
			<ul style="list-style-type: none"> (1) 生物多様性地域戦略策定について (2) 樽前ガローについて (3) 美々川流域とつた森山林について (4) エゾシカ対策について 10 教育行政 <ul style="list-style-type: none"> (1) 小中学校連携教育について (2) 部活動の地域移行について 11 平和 <ul style="list-style-type: none"> (1) 米艦船の苫小牧港寄港について (2) 苫小牧市非核平和都市条例の推進について (3) 平和教育の推進について 12 職員の働き方改革 <ul style="list-style-type: none"> (1) 中途退職者について (2) ハラスメント対策について 13 スポーツによるまちづくり <ul style="list-style-type: none"> (1) スポーツ施設の改築について (2) スポーツ大学の誘致について
5. 2. 24	4	越 川 慶 一 (改革フォーラム)	<ul style="list-style-type: none"> 1 政治姿勢 <ul style="list-style-type: none"> (1) 新型コロナウイルスについて (2) アフターコロナのまちづくりについて (3) 政策における共通理念のポイントについて 2 基本政策 <ul style="list-style-type: none"> (1) アフターコロナの町内会活動について (2) 男女平等参画の推進について (3) 行政組織の活性化について (4) 行政改革について 3 主要施策 <ul style="list-style-type: none"> (1) 医療体制の整備・充実について (2) 障がい者福祉の推進について (3) 子育て支援の充実について (4) 商業の振興について (5) 企業立地の促進について (6) 観光の振興について (7) 雇用・労働環境の整備・充実について (8) 国際リゾート構想について (9) 苫小牧港カーボンニュートラルポート形成計画について (10) 市民スポーツの推進について (11) ゼロカーボンの取組について (12) 樽前ガローの在り方検討について (13) ごみの戸別収集について (14) まちなかの活性化について (15) スマートシティの推進について (16) 市営住宅の建て替えについて

年月日	質問 順位	氏 名 (会 派)	質 問 内 容
			(17) 勇の原公園の整備について (18) 防災体制の充実について 4 教育行政 (1) アフターコロナの学力向上について (2) ICT機器の活用について (3) コミュニティ・スクールについて (4) 部活動の地域移行について (5) 英検受験費用の補助について (6) 学校規模適正化について
	5	富 岡 隆 (日本共産党市議団)	1 政治姿勢 (1) 新年度の予算について (2) 平和行政 ア 専守防衛と敵基地攻撃能力保有について イ 米艦船の苫小牧港入港について (3) 物価高から暮らしを守る対策 ア 消費税の減税について イ 労働者の賃金引上げについて (4) インボイス制度について (5) マイナンバーカードについて (6) エネルギー政策 ア 第4次環境基本計画について イ 原発について ウ 北電の大幅な値上げについて (7) 子育て支援 ア 保育について イ 子どもの医療費助成拡大について ウ 学校給食費の無償化について エ 不登校対策について オ フリースクールについて (8) まちづくり ア IRについて イ 旧サンプラザビル問題について ウ 苫小牧市民文化ホールについて エ 健康づくりについて (9) コロナ対策について
	6	桜 井 忠 (会派市民)	1 苫小牧市の近未来予想 (1) コロナ ア 存在証明について イ 統合医療について ウ コロナでの死亡増と報道姿勢について エ 5類への見直しについて (2) まちづくり ア 駅前再開発と一方通行規制の問題について

年 月 日	質問 順位	氏 名 (会 派)	質 問 内 容
			イ 今後の I R の進展状況について ウ 苫小牧市民文化ホール (7) 資材高騰について (4) 周辺住民の災害時の避難について (ウ) 題字展示について (3) カーボンフリー ア 水素ステーションの整備について イ 水素の価格格差について ウ 北海道との適性について (4) 空港と外国人観光など ア アフターコロナの展開について イ 技能実習生について (5) 防災 ア 津波ハザードマップについて (6) 高齢者福祉政策 ア 100歳のお祝いについて (7) 町内会との連携について (8) 野生生物対策 ア 鹿対策について イ キツネ対策について (9) 市営住宅 ア 市営住宅建て替え計画について イ 電気自動車用充電施設について 2 教育行政 (1) コロナとマスクについて (2) 給食 ア オーガニック給食について

(12) 陳情処理状況

No.	受理年月日	件名	提出者	付託年月日	議決年月日
1	4. 8. 31	憲法改正の発議に際し、国民が検討するための十分な時間を確保するよう国に求める要望意見書提出に関する陳情 ○第24回定例会 陳情第1号	憲法を考える苫小牧市民の会 代表 阿部 一枝	4. 9. 13 (総務)	4. 9. 15 (採択)
2	4. 11. 30	子どもの新型コロナウイルス感染症対策緩和を求める要望意見書提出に関する陳情 ○第26回定例会 陳情第1号	北海道こどもの健康を考える会 代表 佐藤 瞳	4. 12. 6 (文教経済)	4. 12. 9 (不採択)
3	5. 2. 2	小中学校におけるマスク着用に関する幅広い理解と周知を求める陳情 ○第27回定例会 陳情第1号	石見 のり子 外169名	5. 2. 16 (文教経済)	5. 3. 10 (不採択)
4	5. 2. 6	原発の運転原則40年規定を守ることを国に求める要望意見書提出に関する陳情 ○第27回定例会 陳情第2号	脱原発・自然エネルギーをすすめる苫小牧の会 会長代行 津田 孝	同上 (総務)	同上 (不採択)
5	5. 2. 14	国立病院の機能強化を求める要望意見書提出に関する陳情 ○第27回定例会 陳情第3号	全日本国立医療労働組合北海道 地方協議会 議長 大塚 成治	5. 2. 24 (総務)	同上 (不採択)

(13) 意見書提出状況

No.	件名	議決年月日	提出先	備考
1	森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を求める要望意見書 ○第22回定例会 意見書案第1号	4. 6. 10	内閣総理・総務・財務・文部科学・農林水産・経済産業・国土交通・環境・復興大臣、衆議院・参議院議長	
2	2022年度地方財政の充実・強化に関する要望意見書 ○第22回定例会 意見書案第2号	同 上	内閣総理・総務・財務・厚生労働・内閣府特命担当（地方創生・経済財政政策）大臣、衆議院・参議院各議長	
3	食料自給率向上を求める要望意見書 ○第22回定例会 意見書案第3号	同 上	内閣総理・農林水産・経済産業大臣	
4	2022年度北海道最低賃金改正等に関する要望意見書 ○第22回定例会 意見書案第4号	同 上	北海道労働局長、北海道最低賃金審議会会長	
5	憲法改正の発議に際し、国民が検討するための十分な時間を確保するよう国に求める要望意見書 ○第24回定例会 意見書案第1号	4. 9. 15	内閣総理、衆議院・参議院各議長	
6	女性デジタル人材育成を推進するための支援を求める要望意見書 ○第24回定例会 意見書案第2号	同 上	内閣総理・財務・厚生労働大臣、衆議院・参議院各議長	
7	教育予算確保、拡充と就学保障の充実に向けた要望意見書 ○第24回定例会 意見書案第3号	同 上	内閣総理・総務・財務・文部科学・内閣府特命担当（地方創生）大臣、衆議院・参議院各議長	
8	带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める要望意見書 ○第26回定例会 意見書案第1号	4. 12. 9	財務・厚生労働大臣	
9	新型コロナウイルス感染症の後遺症の方々の日常を守る取組の強化を求める要望意見書 ○第27回定例会 意見書案第1号	5. 3. 10	内閣総理・厚生労働大臣、衆議院・参議院各議長	
10	アスベスト被害を抑える対策の強化を求める要望意見書 ○第27回定例会 意見書案第2号	同 上	内閣総理、厚生労働大臣、衆議院・参議院各議長	
11	新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけを5類に移行した後も、医療機関や感染者への公的支援を継続することを求める要望意見書 ○第27回定例会 意見書案第3号	同 上	内閣総理・厚生労働大臣、衆議院・参議院各議長	

森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を求める要望意見書

本道の森林は全国の森林面積のおよそ4分の1を占め、国土保全、地球温暖化防止、林産物の供給等の多面的機能の発揮が期待されており、これらの機能を十分に発揮させるためには、森林資源の循環利用を進める必要があります。全国一の森林資源を有する北海道が2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロとする国の目標の達成に向けて、伐採後の着実な植林による森林の若返りや長期間炭素を固定する木材利用の促進、化石燃料の代替となる木質バイオマスのエネルギー利用の促進などの森林吸収源対策を積極的に推進する責務を担うことが必要です。

北海道では、森林の公益的機能の維持増進と森林資源の循環利用の実現に向け、森林整備事業や治山事業など国の事業を活用し、植林・間伐や路網の整備、山地災害の防止、木造公共施設の整備、林業事業体の育成など、様々な取組を進めてきたところです。

本道の森林を将来の世代に引き継いでいくため、活力ある森林づくりや防災・減災対策をさらに進め、森林・林業・木材産業によるグリーン成長が実現できるよう、施策の充実・強化を図ることが必要です。

よって、国及び関係機関におかれましては、次の措置を講ずるよう強く要望いたします。

記

- 1 森林の多面的機能を持続的に発揮し、ゼロカーボン北海道の実現に貢献するため、適切な間伐と伐採後の着実な植林の推進に必要な森林整備事業予算や、防災・減災対策の推進に必要な治山事業予算を十分に確保すること。
- 2 森林資源の循環利用を一層推進するため、ICT等の活用によるスマート林業の推進、木材生産・流通体制の強化、建築物の木造・木質化、木質バイオマスのエネルギー利用の促進などによる道産木材の需要拡大、森林づくりを担う人材の育成・確保などに必要な支援を充実・強化すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

苫小牧市議会

【提出先】 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣、復興大臣、衆議院議長、参議院議長

2022年度地方財政の充実・強化に関する要望意見書

現在、地方自治体には、急激な少子高齢化の進展にともなう子育て、医療、介護など社会保障制度の整備、また人口減少下における地域活性化対策、脱炭素化を目指した環境対策、行政のデジタル化推進など、より新しく、かつ多岐にわたる役割が求められています。

しかし、現実に地域公共サービスを担う人材は不足しており、疲弊する職場実態にある中、新型コロナウイルス、また近年多発している大規模災害への対応も迫られています。これらに対応するための地方財政について、政府は骨太方針2021において、2021年度の地方一般財源水準を2024年度まで確保するとしています。それをもって増大する行政需要に十分対応し得るのか、大きな不安が残されています。

よって、国及び関係機関におかれましては、2023年度の政府予算と地方財政の検討に当たっては、コロナ禍への対応も勘案しながら、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立を目指すため、下記の事項について実現されるよう強く要望いたします。

記

- 1 社会保障の維持・確保、防災、減災、脱炭素化対策、地域活性化に向けた取組、デジタル化対策など、増大する地方公共団体の財政需要を的確に把握し、十分な地方一般財源総額の確保を図ること。
- 2 新型コロナワクチン接種の体制確保、感染症対応業務のみに限定しない保健所体制・機能の全体的な強化、その他の新型コロナウイルス対応事業や地域経済の活性化までを見据えた十分な財源措置を図ること。
- 3 まち・ひと・しごと創生事業費として確保されている1兆円については持続可能な地域社会の維持・発展に向けて恒久的な財源とすること。また、同規模の財源確保はもとより、その拡充を含めて検討すること。
- 4 臨時財政対策債に頼らない、より自律的な地方財政の確立に取り組むこと。あわせて、地方の安定的な財源確保に向けて、国税から地方税への税源移譲を行うなど、より抜本的な改善を行うこと。また、各種税制の廃止や変更、減税等を検討する際は、地方の財政運営における予見性を損なわないよう、十分に地方自治体の意見を反映し、慎重に検討すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

苫小牧市議会

【提出先】 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、内閣府特命担当大臣（地方創生）、内閣府特命担当大臣（経済財政政策）、衆議院議長、参議院議長

食料自給率向上を求める要望意見書

日本の食料自給率は現在37%であり、6割以上を海外からの輸入で賄っている現状にあります。昨今の地球規模での気候変動による豪雨や高温などの異常気象で、作物が不作となり、世界の食料需要が変化しています。

さらには、新型コロナウイルス感染拡大やロシアによるウクライナへの侵略などによる影響も大きく、ウクライナ情勢での小麦の高騰は国民生活において深刻です。

政府は、原油価格・物価高騰等に関する関係閣僚会議を設置し、4月26日に4つの柱で様々な対策を発表しました。その中で、食料等の安定供給対策を打ち出し、高騰する輸入小麦から国産の米・米粉、国産小麦への切替えによる危機に強い経済構造の実現を目指すとの方針を示しました。

日本の農業は家族農業が多く、高齢化や後継ぎ問題などの課題がある中で、国連は持続可能な社会の実現には、家族農業・小規模農業の役割が欠かせないとして、2019年に農業支援を各国に呼びかけました。政府も、国産小麦の生産拡大策として、高騰する原材料からの切替えや価格転嫁に見合う付加価値の高い商品への転換、販路開拓支援など、様々な支援策を発表したことは歓迎いたします。

世界的な影響が生じる事案が起きるたびに、日本の食料需要に大きな影響を受けることは国民生活において死活問題であり、必要な食料を日本で賄えるよう食料自給率を引き上げることが必要と考えます。

よって、国におかれましては国民生活を守る視点から、食料自給率を上げるためにさらなる農業支援策を講じるよう強く要望いたします。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

苫小牧市議会

【提出先】 内閣総理大臣、農林水産大臣、経済産業大臣

2022年度北海道最低賃金改正等に関する要望意見書

道内で働く者の暮らしはコロナ禍で一層厳しく、特に、年収200万円以下の労働者は、道内でも45.1万人と、給与所得者の27.3%に達しています。また、道内の全労働者216万人（内パート労働者64.7万人）のうち、39万人を超える労働者が最低賃金近傍に張り付いている実態にあります。

労働基準法第2条では、労働条件の決定は労使が対等な立場で行うものと定めていますが、現状では最低賃金の影響を受けるこれら多くの非正規労働者は、労働条件決定にほとんど関与することができません。

経済財政運営と改革の基本方針2021において、より早期に全国加重平均が1,000円になることを目指すことが堅持され、令和3年度北海道地方最低賃金審議会の答申書においても、同様の内容を表記しました。

最低賃金が上がらなければ、その近傍で働く多くの方の生活はより一層厳しいものとなり、新型コロナウイルス感染症が収束した際の個人消費にも影響を与え、北海道経済の停滞を招くことにつながりかねません。

よって、北海道労働局及び北海道地方最低賃金審議会におかれましては、令和4年度の北海道最低賃金の改正に当たって、下記の事項について措置を講ずるよう強く要望いたします。

記

- 1 地域間格差にも配慮しながら、より早期に全国加重平均1,000円になることを目指すことが堅持された経済財政運営と改革の基本方針（骨太方針）を十分尊重し、経済の自律的成長の実現に向けて、最低賃金を引き上げること。
- 2 厚生労働省の業務改善助成金など各種助成金を有効活用した最低賃金の引き上げを図ること。同時に、中小企業に対する賃上げしやすい環境整備、支援の充実と安定した経営を可能とする実効ある対策を図るよう国に対し要請すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

苫小牧市議会

【提出先】 北海道労働局長、北海道最低賃金審議会会長

憲法改正の発議に際し、国民が検討するための 十分な時間を確保するよう国に求める要望意見書

私たちにとって大事な憲法の問題、私たちの子供や孫たちの世代にも残していく憲法をつくるために、正しい判断が求められています。

参議院選挙が終わり、憲法改正に必要な3分の2以上の賛成議員が当選したため、にわかに憲法改正の発議が現実味を帯びてきました。憲法改正の議論を国会においてしっかりとされることを期待しますが、それだけではなく、最終的には国民投票によって改正可否の判断がなされます。

しかし、自らを振り返るとき、現実的には学校で習ったほどの知識しかなく、これでは主権者である国民としての責任を果たすことができません。そこで、私たちは賛成、反対の結論を得るのではなく、必要となる十分な知識や、判断力をつけるために、勉強会を何度も重ねていかなければならないと考えます。

よって、国及び関係機関におかれましては、国民が必要な知識を習得し、自ら考え、正しい判断をするために、国民投票までに十分な時間を確保するよう要望いたします。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

苫 小 牧 市 議 会

【提出先】 内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長

女性デジタル人材育成を推進するための支援を求める要望意見書

女性デジタル人材育成については、女性の経済的自立に向けて、また、女性人材の成長産業への円滑な移動支援を図る観点から極めて重要です。

政府は本年4月26日、女性デジタル人材育成プランを取りまとめ、就労に直結するデジタルスキルの習得と、柔軟な働き方を促す就労環境の整備の両面から支援し、女性のデジタル人材育成の加速化を目指すこととしました。

我が国の国際競争力を高め生産性を向上させる上でも、本プランの着実な遂行と実現が不可欠であり、デジタル化が進むことにより、大都市一極集中による人口の過度の偏在の緩和や、感染症等のリスクの低減も図られるとして、大きな期待が寄せられているところです。

よって、国及び関係機関におかれましては、地方における女性デジタル人材育成の推進を図るため、下記の事項を実施するよう強く要望いたします。

記

- 1 現時点では取組事例が全国的に極めて少ない中で、本プランの実施、遂行において、自治体規模に合わせた取り組みやすい参考事例を国として積極的に発信すること。
- 2 テレワークによるデジタル分野の就労は離れた地域でも可能であることから、テレワーク可能な企業の斡旋、紹介については全国規模で行えるよう、プラットフォームを形成すること。
- 3 全国どこに住んでいても、また、育児や介護など時間的な制約があっても、デジタルスキルを習得してテレワークを活用しながら就労ができ、サポートを受けながらOJT等による実践的な経験を積むことができる機会を提供すること。
- 4 テレワークの定着、促進に向けての全国的な導入支援体制をいち早く整備すること。
- 5 本プランの着実な遂行のための十分な予算を確保すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

苫小牧市議会

【提出先】 内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長

教育予算確保、拡充と就学保障の充実にに向けた要望意見書

義務教育費国庫負担制度は、地方自治体の財政状況に左右されずに教職員を安定的に確保するため、教職員給与の一部を国が負担する制度です。この制度における国の負担率は2分の1から3分の1に変更されました。教育の機会均等を確保するためにも、国の責任において義務教育費国庫負担制度を堅持し、国の負担率を2分の1へと復元することが重要です。

また、子どもたちへのきめ細やかな教育を実現するためには、教職員定数を抜本的に改善することによる少人数学級の実現と教職員の超勤、多忙化解消は不可欠です。公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律の一部を改正する法律が成立し、小学校において段階的に35人以下学級が実現することとなりましたが、中学校、高校については依然として検討にとどまっています。

さらに、小学校高学年の教科担任制及び小学校における35人学級実現のための教職員定数改善が4,690人であるのに対し、自然減や配置の見直しなどにより6,912人の減少となっており、教職員増とはなっていません。早急に30人以下学級を実現し、実質的な教職員増としていく必要があります。

2021年12月に文部科学省が発表した就学援助実施状況等調査では、被災児童生徒就学援助事業対象児童生徒を含む要保護、準要保護援助率は、全国で14.52%、北海道においては全国で8番目に高い18.30%となっており、依然として厳しい実態にあります。また、教育現場では給食費、修学旅行費などの私費負担が減少せず、地方交付税措置されている教材費や図書費についても自治体によってその措置に格差が生じています。

さらに、奨学金制度を利用せざるを得ない子どもたちや経済的な理由で進学、就学を断念する子どもが増加しており、その解消に向けて、就学援助制度、奨学金制度、高校授業料無償化制度を拡大させていく必要があります。

よって、国及び関係機関におかれましては、下記の項目について実現されるよう強く要望いたします。

記

- 1 国の責務である教育の機会均等、水準の最低保障を担保するため、義務教育費国庫負担制度を堅持し、当面、義務教育費国庫負担金の負担率を2分の1に復元すること。
- 2 30人以下学級の早期実現に向けて、小学校1年生から中学校3年生の学級編制標準を順次改定するとともに、中学校、高校に35人以下学級を拡大すること。また、計画的な教職員定数改善による実質的な教職員増の早期実現、教頭、養護教諭、事務職員の全校配置実現のため、必要な予算の確保、拡充を図ること。
- 3 給食費、修学旅行費、教材費など保護者負担解消や、図書費などについても国において十分な確保、拡充を行うこと。
- 4 就学援助制度、奨学金制度のさらなる拡大、高校授業料無償化に対する所得制限の撤廃など、就学保障の充実に向け、国の責任において予算の十分な確保、拡充を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

苫小牧市議会

【提出先】 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、
内閣府特命担当大臣（地方創生）、衆議院議長、参議院議長

带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める要望意見書

带状疱疹は、過去に水痘に罹患した人が、加齢や過労、ストレスなどによる免疫力の低下により、体内に潜伏する带状疱疹ウイルスが再燃し発症するものです。

日本人では、50歳代から発症率が高くなり、80歳までに3人に1人が発症すると言われており、治療が長引くケースや後遺症として痛みなどの症状が残るケースもあります。

この带状疱疹の発症予防のために、ワクチンが有効とされておりますが、費用が高額になることから接種を諦める高齢者も少なくありません。

また、带状疱疹による神経の損傷によって、その後も痛みが続く带状疱疹後神経痛と呼ばれる合併症に加え、角膜炎、顔面神経麻痺、難聴などを引き起こし、目や耳に障害が残ることもあるとも言われております。

よって、国におかれましては、一定の年齢以上の国民に対するワクチンの有効性等を早急に確認し、带状疱疹ワクチンの助成制度の創設や予防接種法に基づく定期接種化をするよう強く要望いたします。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

苫小牧市議会

【提出先】 財務大臣、厚生労働大臣

新型コロナウイルス感染症の後遺症の方々の 日常を守る取組の強化を求める要望意見書

新型コロナウイルス感染症の罹患者の中で、疲労感、倦怠感などの罹患後症状、いわゆる後遺症を訴える方が増えています。実際に、倦怠感、呼吸困難感、集中力の低下、記憶力の低下、睡眠障害など、仕事や学業の継続が困難になる方も多いと言われています。

後遺症は社会生活上、非常に影響が大きく、例えば、子どもの場合は自分から症状を訴えることが難しいため、怠けていると捉えられてしまうおそれもあります。

感染拡大から3年が経過し、新型コロナウイルス感染症への向き合い方も変わる中で、後遺症に悩み生活に大きな影響を受けている方々の治療等の確立は大変に重要な課題です。

よって、国及び関係機関におかれましては、新型コロナウイルス感染症の後遺症の方々に寄り添い、一人一人の日常を守るために、下記の事項について積極的な取組を要望いたします。

記

- 1 新型コロナウイルス感染症の後遺症の発生状況について、非常に近い症状の筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群との関連も含めた、実態調査を推進すること。
- 2 一部医療機関で実施されている、Bスポット療法等の検証を進めるとともに、療法の標準化により、後遺症に対応できる医療機関や相談窓口を拡充すること。
- 3 自己免疫疾患との関連など、新型コロナウイルス感染症による後遺症の原因究明と新たな治療法の確立に向けた研究予算を確保すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

苫小牧市議会

【提出先】 内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長

アスベスト被害を抑える対策の強化を求める要望意見書

現在、アスベストの健康被害が生じた場合は、労働者災害補償保険制度（労災保険制度）による補償や、石綿健康被害救済法や建設アスベスト給付金制度による給付金等が支給されています。しかし、アスベストによる健康被害は今も増え続けており、アスベストの健康被害を受けた方々からは、一日も早い治療法の確立が求められています。

また今後は、アスベスト建材の使用ピークから約50年が経過し、当時建築されたビルや家屋の老朽化による解体もピークとなります。

よって、国及び関係機関におかれましては、今後のアスベストによる健康被害者の治療法の一日も早い確立と、アスベスト被害の発生防止に向け、下記の事項に全力で取り組むことを強く要望いたします。

記

- 1 アスベストによる健康被害者の治療や進行抑制に効果のある研究、開発を促進し、そのための安定的な予算を確保すること。
- 2 地域の建築物におけるアスベストが含まれる建材の使用の有無の事前調査と解体、処分までの追跡調査を強化すること。
- 3 改正大気汚染防止法施行による建物の解体などにおける飛散防止対策の実施状況調査を強化すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

苫小牧市議会

【提出先】 内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけを5類に移行した後も、 医療機関や感染者への公的支援を継続することを求める要望意見書

政府は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけを、5月8日から5類に移行する方針を決めました。5類への移行に伴い、政府は外来、入院の自己負担の公的支援や医療機関への財政措置について、期限を区切って継続すると発表しています。

新型コロナウイルス第8波のもとで死者数が過去最多を更新し、感染者数の急増で医療機関が逼迫するもとの5類移行に対し、専門家から様々な懸念が出ています。

新型コロナウイルス感染症を収束させるためには、受診抑制をせずに安心して医療機関にかかる公的支援、医療体制の強化、維持のための公的支援が不可欠であり、地域経済を支える上でも重要です。

よって、国及び関係機関におかれましては、新型コロナウイルス感染症法上の位置づけを5類に移行した後も、感染状況の推移を見極めた上で、公費負担や財政措置を継続するよう要望いたします。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

苫 小 牧 市 議 会

【提出先】 内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長

(14) 決議提出状況

No.	件名	議決年月日	提出先	備考
1	総合開発特別委員会設置に関する決議の一部を変更する 決議 ○第24回定例会 決議案第1号	4. 9. 2	_____	
2	朝鮮民主主義人民共和国によるミサイル発射に抗議する 決議 ○第25回臨時会 決議案第1号	4. 11. 15	_____	
3	朝鮮民主主義人民共和国によるミサイル発射に抗議する 決議 ○第27回定例会 決議案第1号	5. 3. 10	_____	

総合開発特別委員会設置に関する決議の一部を変更する決議

総合開発特別委員会設置に関する決議（令和元年5月22日議決、令和3年11月30日変更議決）の一部を、次のように変更する。

第2項に次の1号を加える。

(9) 都市再生コンセプトプランについて（個別の事業を除く。）

以上、決議する。

苫 小 牧 市 議 会

朝鮮民主主義人民共和国によるミサイル発射に抗議する決議

朝鮮民主主義人民共和国が強行した連日にわたるミサイル発射は、我々日本国民にとって大きな脅威であり、平和と安全を脅かす蛮行であります。特に10月4日発射された弾道ミサイルは北海道近隣の空域を通過して太平洋上に落下したと推定されております。日本上空を通過したミサイルは、国民保護の観点から極めて重大な危険を及ぼす行為であり断じて容認することはできません。連日の弾道ミサイル発射とともに、日本上空を通過した3度目のミサイル発射に対して極めて強い憤りと不安を覚えております。

よって、本市議会は、朝鮮民主主義人民共和国に対し、弾道ミサイルの発射及び日本上空を通過するミサイル発射に厳重に抗議するとともに、日本及び国際社会の平和と安全を脅かす挑発行為の即時中止を求めます。

以上、決議する。

苫小牧市議会

朝鮮民主主義人民共和国によるミサイル発射に抗議する決議

2月18日、朝鮮民主主義人民共和国によるとみられるミサイル発射は、日本領海内松前沖に落下したと推定されています。その後も2月20日にも2発のミサイルを発射しております。

日本領海内に落下したミサイルについては、どのような被害が起きるかわからない状況であり、国民保護の観点から極めて重大であり、断じて見過ごすことができません。

本市議会として、平成29年9月7日、続いて9月15日、及び令和4年11月15日と3回に渡り、朝鮮民主主義人民共和国の相次ぐミサイルの日本上空通過、及び核実験の強行に抗議する決議を全会一致で可決したところではありますが、今回は連日のミサイル発射と、その内1発の日本領海内に落下したことは、世界平和を願う私どもにとりまして極めて遺憾であります。

よって、本市議会は朝鮮民主主義人民共和国に対し、厳重に抗議するとともに、2度とこのような事態を引き起こさないよう強く要請いたします。

以上、決議する。

苫 小 牧 市 議 会

6 その他資料

(1) 行政視察来訪状況

年月	来 訪 団 体	件数計	人数計
5	静岡県 焼津市 7人	1	7
7	兵庫県 姫路市 4人 宮城県 名取市 7人 兵庫県 赤穂市 2人	3	13
8	茨城県 つくばみ らい市 6人 熊本県 水俣市 5人 三重県 1人 島根県 松江市 4人 愛知県 名古屋市 3人 長野県 飯田市 8人 愛知県 名古屋市 3人 北海道 旭川市 1人	8	31
10	高知県 四万十市 6人 東京都 昭島市 6人 埼玉県 東松山市 3人	3	15
11	北海道 広尾町 5人 徳島県 阿南市 9人 長野県 伊那市 6人 三重県 津市 4人	4	24
合計		19	90

《主な調査事項》

まちなか再生総合プロジェクト、福祉トイレカー「とまレット」、沼ノ端クリーンセンター
「ゼロカーボンシティ宣言」の取組、総合窓口フロア、とまチョップポイント事業など

(2) 議会関係諸室平面図

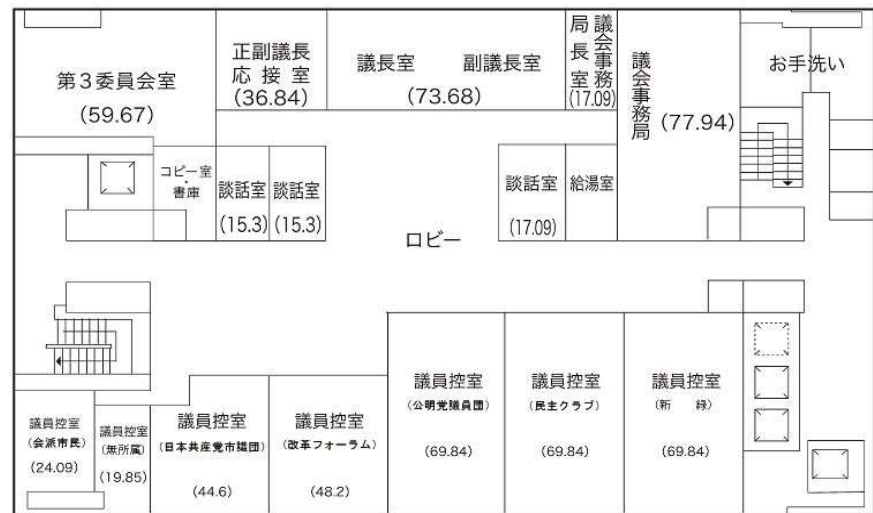
(9 F)

大会議室 1 室
委員会室 2 室
図書室 1 室



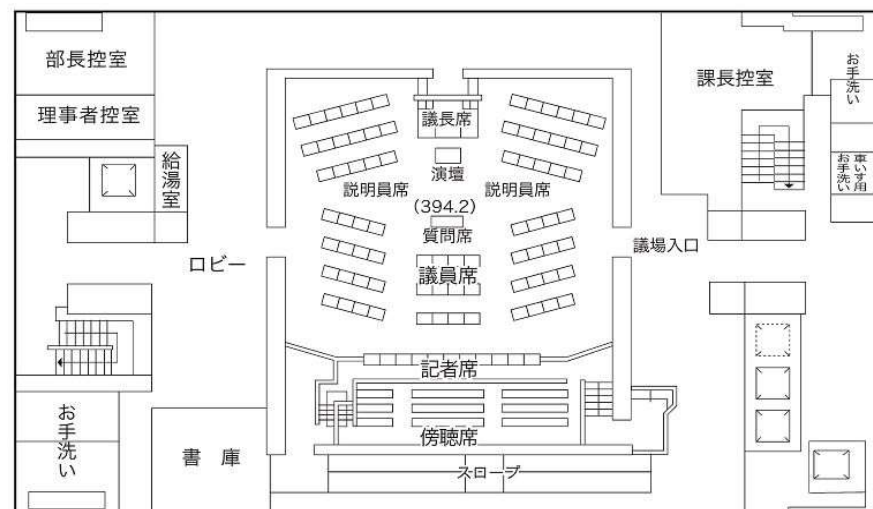
(10 F)

正副議長室 1 室
正副議長応接室 1 室
委員会室 1 室
議員控室 7 室
談話室 2 室
元議員談話室 1 室
議会事務局長室 1 室
議会事務局 1 室
コピー室・書庫 1 室



(11 F)

議場 1 室
議席 44 席
説明員席 28 席
傍聴席 57 席
車椅子 3 席
控室 3 室



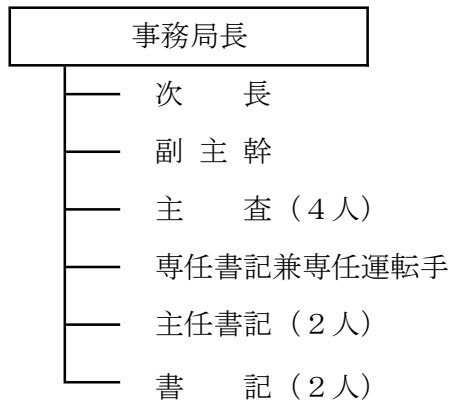
(12 F)

録音調整室 1 室

7 事務局

(1) 機 構 (R5. 4. 1現在)

定数 12人 現員数 12人



(2) 事務分掌

- ・本会議、委員会に関すること。
- ・請願、陳情の取扱いに関すること。
- ・議案、決議案、意見書案の取扱いに関すること。
- ・会議録に関すること。
- ・議員の身分、処遇に関すること。
- ・議会の傍聴に関すること。
- ・各種資料収集と調査に関すること。
- ・議会ホームページ、広報に関すること。
- ・議会図書室に関すること。
- ・行政視察の対応に関すること。

(3) 議会中継等

1) 庁内テレビ放送

本会議、予算・決算審査特別委員会及び議会改革検討会を1階市民ロビーで生放送
※本会議は議事堂の課長控室で生放送

2) 議会映像システム

本会議場の映像をインターネットで生中継（平成15年9月18日から実施）
予算及び決算審査特別委員会の映像をインターネットで生中継（平成20年3月4日から実施）
議会改革検討会の映像をインターネットで生中継（平成23年7月1日から実施）
上記中継録画を議会閉会及び委員会終了後、インターネットで配信（5年間分）

3) 会議録検索システム

定例会、臨時会、予算・決算審査特別委員会の会議録を公開（平成15年10月1日から実施）
常任委員会、総合開発特別委員会、安全・安心及び市民ホールに関する特別委員会の会議録を公開（令和3年3月12日から実施）

4) 広 報

苦小牧市議会ホームページに、議決結果等を掲載

苦小牧市議会フェイスブックを開設（平成29年4月3日から運営開始）

苦小牧市議会定例記者会見を実施（令和元年6月定例会から開始）

5) そ の 他

本会議傍聴者にとまチョップポイントを付与（平成29年6月定例会から開始）

議場コンサートを実施（平成28年9月定例会から開始）

※令和2～4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のためとまチョップポイントの付与及び議場コンサートの開催を中止

(4) 図 書 室

1) 蔵 書

蔵 書 数 (冊)		雑 誌	令和5年度
一般単行本	法 令 集		購入予算額
796	11種類 34	4種類	110千円

※予算額には、例規等追録代、新聞代、雑誌代含まず。

とまこまい

議 会 年 報

令和4年度版

令和6年2月発行

☆ 編集 苫小牧市議会事務局